

令和6年度 定期モニタリング評価表（年間）				
施設名	枚方市立生涯学習市民センター・図書館 （御殿山・菅原）	所管部署 （連絡先）	観光にぎわい部文化生涯学習課（072-841-1409） 教育委員会中央図書館（050-7105-8110）	令和 7年 6月実施

この定期モニタリングでは、以下の表の評価項目・視点により確認を行いました。

評価項目		評価の視点	
1 業務の履行状況		事業・業務等が適正に実施されているか否かについて、実施状況・実施体制を確認します。	
(1) 選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項	市民ニーズの把握・対応状況	アンケート調査等の実施により、市民（利用者）のニーズを把握し、その結果を踏まえて改善を行っているかについて確認します。	
	経済性	料金収入や委託料等の収支状況について、当初の収支計画と乖離がないか、適正な内容となっているかについて確認します。	
	サービス水準	指定管理者によるサービス水準が適切なものとなっているかについて確認します。	
	リスクマネジメント	緊急事態発生時や機器・設備故障時等における対応状況や、対応体制・対応方法について確認します。	
(2) 施設の管理運営に関する経費の収支状況（使用料の収入実績を含む）			
(3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項			
2 業務の継続性・安定性		指定管理者の財務状況が継続的、安定的にサービスを提供できる状態にあるかについて確認します。	

施設の概要等			
所在地	枚方市御殿山町10-16・枚方市長尾元町1-35-1	主な業務内容	【生涯学習市民センター】 ・生涯学習活動に係る情報の収集及び提供を行うこと。 ・生涯学習活動に係る交流の促進その他生涯学習活動の支援を行うこと。 ・センターの施設及び附属設備を生涯学習活動及び協働によるまちづくりに係る活動の用に供すること。 ・センターの施設等を社会教育法(昭和24年法律第207号)に基づく社会教育事業の用に供すること。 【図書館】 ・教育と文化の発展に係る図書館事業の実施に関すること。 ・読書案内及びレファレンスに関すること。 ・図書館資料の選択、貸出し、整理、修理、保存および除籍に関すること。
設置目的	【生涯学習市民センター】 市民の学習活動及び芸術等の文化活動を支援するとともに、地域におけるコミュニティ活動の活性化を促進することにより、市民が生涯にわたって学び続けることのできる環境を醸成し、並びにこれらの活動を通じた市民との協働によるまちづくりを推進する。 【図書館】 図書その他必要な資料を収集し、整理し、及び保存して市民の利用に供し、その教養、調査研究、余暇活動等に資するため、図書館法の規定に基づく図書館を設置する。		
指定管理期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日 (2023年4月1日から2028年3月31日)		
指定管理者			
名 称 (JVの場合はグループ名)	枚方まなびつながりプロジェクト	代表団体 (JVの場合)	大阪ガスビジネスクリエイト株式会社
所在地(JVの場合は代表団体の所在地)	大阪市西区京町堀1丁目4番16号	構成団体 (JVの場合)	株式会社リブネット 京阪ビルテクノサービス株式会社

1 業務の履行状況

(1) 選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項

評価ポイントごとの評価基準	
5	計画以上に独自の新たなサービスを提供し、特に良好な管理運営を行って
4	計画以上の良好な管理運営を行っている。
3	計画どおりの適正な管理運営を行っている。
2	一部計画どおりにできていない、又は改善が必要であるが、概ね適切な管
1	全く計画どおりにできていない、又は一部不適切な管理運営が行われてい

評価ポイント	指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由
【施設の経営方針に関する事項】				
①施設の現状に対する考え方や将来展望				
施設の設置目的等を踏まえた現状認識及び今後の方向性が明確に提案されている（確認事項9）				
・市民が『まなび』と『つながり』を共有する、誰もが気軽に集える、まちなかサロンを実現	3	生涯学習市民センター 《共通》 ・「まちなかサロン」の実現に向け提案内容および事業計画書に基づいて計画的に実施している。 ◆2024年度年間 施設利用率 ・御殿山:56.4%（昨年度 55.3%） ・菅原：64.6%（昨年度 63.4%） 〈御殿山〉 ・美術関連書籍（市民寄贈）の本棚更新設置 利用者から「本が見やすくなった」と複数の声あり。 ・来館のたびに新しい展示に触れて頂けるよう、ギャラリー個展、ロビー展、その他企画展を年間を通じて開催した。（年間 企画展 8回 アートフラッシュ 4回 ロビー展 5回 個展 5回） 〈菅原〉 ・ロビーにカウンタースタイルの座席11席追加。 ・市民の談笑や非定型的グループ活動の場となっているMOKU内に、快適性向上のためのBGM開始。（9月） ・ロビーに植物栽培エリア拡大(水草コーナー)（7月） 図書館 《共通》 ・地域の人々が気軽に集い、「まなび」と「つながり」を共有する事ができる「まちなかサロン」を目指し、イベントを実施している。 〈御殿山〉 【令和6年度実績】 個人貸出冊数：235,813冊（昨年同期241,247冊）（対前年度比97.7%） 個人貸出人数：113,980人（昨年同期 110,684人）（対前年度比102.9 %） 新規登録者数：341人（昨年同期 384人）（対前年度比 88.8%） 〈菅原〉 【令和6年度実績】 個人貸出冊数：404,604冊（昨年同期397,370冊）（対前年度比101.8%） 個人貸出人数：209,494人（昨年同期197,559人）（対前年度比106.0 %） 新規登録者数：547人（昨年同期 612人）（対前年度比 89.3%）	3	「まちなかサロン」として各種事業の企画・実施に努めているため、事業計画どおりであり、本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
②施設運営に関する計画				
(ア) 管理経費・管理体制の提案				
関係法令及び本市条例・規則を遵守し、施設の設置目的に沿った運営計画が提案されている（確認事項11）				
・法令遵守体制の構築。	3	生涯学習市民センター 《共通》 個人情報保護方針、環境方針、コンプライアンスデスク案内に関する掲示を事務所内に掲出。 ※セキュリティ事故対応マニュアルあり。 ・スタッフ全員がDaigasグループ企業行動基準およびコンプライアンスデスク案内用のカードを携行。 ・コンプライアンス意識の向上を目的としてDaigasグループが開催しているコンプライアンス標語コンテストに毎年スタッフ全員が参加。 図書館 《共通》 ・「正当な理由がない限り…不当な扱いをしてはならない」との地方自治法の244条、「図書館法」「枚方市図書館条例」「著作権法」などについて研修を実施。 生涯学習市民センター・図書館 《共通》 ・労働基準法に基づき、有休取得義務化、過重労働にならないための出退勤管理を本社主導でシステム管理している。有休取得においては法定取得日数を管理者が確認し、メンバーへの取得推奨を行うなど積極的に取得できる環境整備に努めている。	3	個人情報保護方針等の掲示や（生涯学習市民C）、法令の研修の実施（図書館）により法令の周知活動を行っているため、各種法令への対応も本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・設置目的に沿った運営計画。	3	生涯学習市民センター 《共通》 ・「枚方市立生涯学習市民センター条例および施行規則」「枚方市生涯推進基本指針」等に沿った運営計画を行っている。 図書館 《共通》 ・「枚方市立図書館条例および施行規則」「枚方市立図書館第4次グランドビジョン」「第4次枚方市子ども読書活動推進計画」等に沿った運営計画を行っている。	3	条例・規則等に基づく適正な運営状況を確認したことから、設置目的に沿った運営計画がなされているため、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
業務繁忙時にも対応できるよう、施設に必要な従事者を適正に配置するとともに、利用者サービス向上、効率的・効果的な管理運営の観点を踏まえた実施体制等について提案されている（確認事項12）				
・施設としてシフトを一体的に管理し、過不足なく配置できる連携体制を構築する。	3	生涯学習市民センター・図書館 《共通》 ・緊急時対応等に備えてJV内でシフト共有を行い、一体的に施設運営が出来る体制を整えている。 生涯学習市民センター ・支障なく運営ができるよう津田・楠葉Gも含めた4館での応援体制を確立している。 〈御殿山〉 ・所長、リーダー、サブリーダー、スタッフ計10名を配置(内1名は障がい者雇用)。 〈菅原〉 ・所長、リーダー、サブリーダー、スタッフ計7名を配置。(欠員については他館からバックアップにて人員体制を整えている)。 図書館 〈御殿山〉 ・館長、リーダー、サブリーダー、スタッフ計15名を配置(内2名は障がい者雇用)。 〈菅原〉 ・館長、リーダー、サブリーダー、スタッフ計19名を配置(内1名は障がい者雇用)。 設備管理 運営と維持管理の連携の他、維持管理部門内に於いても連絡体制を構築、詰所内に掲示して効率的に運用している。	3	《共通》 毎月、施設運営会議を開催し施設の一体化運営を図っている。 〈生涯学習市民C〉 提案書どおりの人員配置体制を配置し、市内4館で相互協力も行ったことを確認している。 以上より、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。

	・施設広報・地域連携担当を選任し、館一体としての効果的・効率的な運営を推進する。	3	生涯学習市民センター・図書館 《共通》 ・施設広報会議を毎月実施。 ・施設広報・地域連携担当をサプリーダー以上から各担当者1名を配置。 HPや広報誌の管理、活動委員会支援、連携事業の企画等、館一体として効果的、効率的な運営を行っている。 〈御殿山〉 ・渚商店会からのご紹介で第11回ひらかたまちゼミチンにワークショップ記事掲載。(10月) 〈菅原〉 ・枚方市消防団女性分団と協力し防災展示を継続。 図書館 《共通》 ・サービス向上委員会を設置。4館合同で開催する枚方読書ツアーのポスター・のぼり・ホームページのバナーを各委員が分担して作成するなど効率的な運営を実施している。	3	〈生涯学習市民センター〉 提案どおりの人員体制をとり、毎月、施設運営会議を開催していることから、事業計画どおりであり本市要求事項水準を満たしていると判断できる。 〈図書館〉 サービス向上委員会を設置し、4館合同の取り組みを委員分担制で行うなど、効率的な運営をしていることを確認したもので、本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
	・地域や利用者をよく知る経験豊富なスタッフが業務にあたり、利用者満足の品質を担保する。	3	生涯学習市民センター・図書館 《共通》 ・地域や利用者をよく知る経験豊富なスタッフを確保するため、職員の半数以上を枚方市を含む近隣地域在住かつ勤務継続3年以上の経験者で構成している。地元採用を積極的に行い、地域人材を有効活用することで、地域のニーズを的確に把握し、地元学校の行事等にも配慮した柔軟な運営を実現。これにより、利用者満足度の高いサービス提供に繋げる。 ・各業務にサプリーダー以上から担当者を配置。各種委員会、よみかき、人形劇などの事務局業務、必要なサポートを行っている。 施設管理 ・近隣住民の採用に心がけ地域特性や情報などの把握に努め、地域に根差した運営に努めている。 図書館 《共通》 ・地元スタッフを配置することにより、地域のレファレンス対応が可能になった。	3	地域への理解が深い人材をスタッフとして配置、また各業務にサプリーダー以上のスタッフを配置するなど、BCPO観点や、利用者満足につながる体制がとられていることを確認したため、事業計画どおりであり本市要求事項水準を満たしていると判断できる。 〈図書館〉地元のスタッフの配置により、地域のレファレンス対応を可能としているもので、地域性を踏まえた利用者ニーズや課題への適切な対応が確認できた。
(イ) 改善提案（生涯学習市民センター）					
生涯学習市民センターの諸室の利用率増加に向けた取組が具体的に提案されている（確認事項13）					
	・既存利用者と新規利用者双方に対する諸室の利用を促すPR（パブリックリレーションズ）。	3	生涯学習市民センター・図書館 《共通》 センター・図書館のホームページトップページを統合（2/27） 生涯学習市民センター 《共通》 ・ホームページをリニューアル。スマートフォンでの閲覧にも対応することでより検索しやすく機能改善を行った。・ホームページをリニューアル。スマートフォン表示にも対応することで利用者の利便性を向上。イベントや休館日などの施設予定が確認できる情報提供機能も順次搭載予定。 生涯学習市民センター 〈御殿山〉 ・地域の方に自由に施設を見学頂ける「オープンごてんやま」開催。8/4（来場者348名）創作初心者向けワークショップ、施設見学、新規登録説明やサークル活動自由見学で新規メンバー募集実施。 ・キミテ中-of鳥ワークショップ。8/4（参加者32名 定員32名） 〈菅原〉 ・窓口での積極的な利用案内、新規利用を考えている方への現地見学提案。 ・安定的な活動回数確保の支援。（競争率の低い部屋を紹介、誘導）	3	諸室利用率の向上に向けて、新規利用者の定着及び既存利用者が継続的・安定的に利用いただけるよう取り組まれていることから、本市要求事項を満たしており、事業計画どおり運営していると判断できる。 ホームページは、今後も利用者の意見を聞いて随時改修するとともに、コンテンツは最新のものになるように心掛けてほしい。
	・ホワイトボード、HDMIアダプター、スマホスピーカーといった備品の充実による諸室の魅力の向上。	3	生涯学習市民センター 《共通》 ・利用者アンケート 項目11「当施設へのご意見」やご利用団体からの直接のご意見などを参考に備品を追加、新設。ご利用団体から喜びのお声を多くいただいている。 〈御殿山〉 ・創作ロッカーに貸出用静音台車2台、和室に風炉屏風、和室・創作室3に外出用スリッパ、創作室貸出用にマキタ電動ドリル1台購入。（上期） ・HDMI接続アダプターを含む各種接続アダプター、展示会案内サインスタンド4台、中庭用スツール4脚購入。（下期） 〈菅原〉 ・こどもコーナーのおもちゃ追加。（上期） ・Bluetooth対応ラジカセを2台購入。（下期） ・HDMIケーブル（10m）を購入。（下期） ※HDMI接続アダプターも導入済。	3	利用者からの意見やニーズを汲み取り、利用者目線の備品充実にも努められていることから、本市要求事項を満たしており、事業計画どおり運営していると判断できる。
	・活用頻度の減った備品や設備に関する実技体験講座を開催するなど、諸室の利用率増加に寄与する貸出備品や付属設備の情報発信。	3	生涯学習市民センター 〈御殿山〉 ・比較的低利用率の低い創作室3の活用策として藍染体験ワークショップを実施。 8/4（参加者27名 定員なし）	3	利用の少ない諸室での新たな利用方法を示すことで利用促進されているため、本市要求事項を満たしており、事業計画どおり運営していると判断できる。 引き続き、認知度の低い備品などを紹介し、施設利用につながるよう努めてほしい。
	・図書館内に生涯学習コーナーを設けるといった諸室利用率の増加に向けた連携事業	3	生涯学習市民センター 〈御殿山〉 ・図書館と連携した「かだしんいっしょ絵本原画展」開催 4/2-4/29 来場者3,097名 ・オープン御殿山「おりがみでうわをつくろう」開催 8/4 31名 ・temiプログラミング教室（8/18）午前3名、午後5名参加。 〈菅原〉 ・団体向けのブックリストを作成し、常時設置するコーナーを下期に設置。	3	事業計画どおりに取り組みはなされていると判断できる。今後も提案書に記載のある図書館利用者が生涯学習市民センターを知って利用につながるような取り組みを一層進めてほしい。
	・長期的な視点での諸室の利用率改善のための、将来世代への取り組み。	3	生涯学習市民センター 〈御殿山〉 「御殿山フェスタ」開催 6/8-9 ・一中吹奏楽部オープニングで演奏。 ・枚方たんぽぽ保育園ロビーに作品展示。 ・牧野高校文芸部、枚方なぎさ高校イラスト部お絵描き体験出張。 ・ティーンフラッシュVol.1「みんなで作るうこの町の未来」展開催 7/19-8/4 〈菅原〉 ・夏休み期間等を中心に、学習や交流の場を求める小中学生や保護者に諸室利用を積極的に案内。	3	学生を巻き込んだ事業を展開することで、長期的な視点での利用率向上に向けた取り組みを実施されていることから、本市要求事項を満たしており、事業計画どおり運営していると判断できる。

・2025大阪・関西万博との連携したイベントを検討し、関西万博の機運上昇への貢献	3	生涯学習市民センター 《共通》 大阪・関西万博との連携イベント「アートdeピース関西万博絵じゃないか」 2025年度4センターを巡回する展覧会として実施予定。 〈御殿山〉 ・みんなで創ろう！この街の未来ワークショップ開催 7/21 (参加者16名、定員25名) 作品は関西万博(ギャラリーWEST)2025/8/3展示	3	大阪・関西万博との連携イベントの企画がされ、機運上昇に貢献しているため、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。引き続き実施に向けて推進していただきたい。
・サークル団体の展示、発表の場の企画。	3	生涯学習市民センター 〈御殿山〉 ・「オープンでてんやま」開催 8/3 (来場者348名) 〈菅原〉 ・「すがわら/ンドライブ」開催9/28日-29日・3/16-17 (来場者440名) ・「すがわらサークル発表会」開催10/27 (来場者850名) 図書館 〈菅原〉 ・菅原図書館「アートギャラリー」の実施。図書館閲覧室内において作品展示場所の提供	3	御殿山のロビー展示、菅原のイベントなど、積極的に利用者を巻き込んだ事業を実施していることから、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。今後も利用者が日ごろの活動の目標にできるような、展示や発表の場を積極的に開催されたい。

生涯学習市民センターで活動する団体の登録数の増加に向けた取組みが具体的に提案されている（確認事項14）				
・活動サークル紹介やメンバー募集案内の掲示など、登録団体の増加に繋がるように既存団体の活動を支援。	3	生涯学習市民センター 《共通》 ・ホームページの団体紹介ページを作成し、活動内容の掲載を継続中。 〈御殿山〉 ・オープンごてんやま開催。8/3（来場者348名） ・掲載希望の2件団体の紹介ページをホームページに掲載。 〈菅原〉 ・ホール音響機材のメンテナンス実施（8月）既存の音楽サークルより口コミで備品状況を伝わり、利用増加につながった。 ・「すがわらサークル発表会」の観客が、出演団体に入会され既存団体の活動支援につながった。	3	ホームページ上で新規メンバーを募集している団体の紹介をし、既存団体の活動を支援していることから、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
・サークル設立マニュアルの作成や相談窓口を設けるなど、サークル設立の支援。	3	生涯学習市民センター 《共通》 ・登録方法や要件、日常的な施設予約や利用方法説明を窓口にて随時説明している。 市民向けにサークル立ち上げのガイドブックとして「サークル設立マニュアル」公開に向けて準備中。 〈御殿山〉 ・実技講座「岩絵の具と麻紙で日本画を描いてみよう」サークル化支援成功 待望の日本画サークル「のんびり日本画クラブ」110名設立（下期）	3	サークル設立の支援のための窓口説明を行っていることから、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。御殿山においてはサークル設立につながったことを評価する。 菅原も含めて今後も取り組んでいただきたい。令和7年度に「サークル設立マニュアル」の公開ができるよう、準備を進めていただきたい。
・サークル活動体験企画。	3	〈御殿山〉 ・オープンごてんやま開催。8/3（来場者348名） 参加サークルに1名加入 〈菅原〉 ・「すがわらサークル発表会」にてロビー展示や体験コーナーを実施。 10/27（来場者850名）	3	サークル活動体験を実施しているため、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
ロビーを含む生涯学習市民センター全体の利用者数の増加に向けた取組みが具体的に提案されている（確認事項15）				
・季節の装飾を施し、市民とのコミュニケーションを創出。	3	生涯学習市民センター 〈御殿山〉 ・毎月、季節感のある装飾を更新しており、利用者の方から作り方についての質問やご好評の声を多くいただいている。 〈菅原〉 ・季節の装飾の範囲をMOKUにも拡大。 ・1フロビーに季節の装飾（MOKUの木）継続。 ・季節の野菜や植物を栽培しロビーなどに展示。 ・センターだより、SNSで植物の生育状況を発信。アサガオのツルを再利用したリース作成、MOKUに展示。	3	季節の装飾を実施し、季節感ある環境づくりに努められたため、市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。市民が参加して双方向のコミュニケーションにつながるような事業展開を期待する。
・ガラス窓お絵かきプロジェクトの開催。	3	生涯学習市民センター 〈菅原〉 ・恐竜 5/18（参加者 7名 フリー参加） ・うみのいきもの7/20（参加者 21名 定員親子6組） ・のりもの 11/2（参加者 14名 定員親子6組） ・お菓子 1/25（参加者 12名 定員親子6組）	3	菅原施設では年4回実施されているため、市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。 御殿山施設でも、来年度ガラス窓を用いた魅力的な空間演出をはじめとした、施設環境を生かした事業を実施されたい。
・まちなか植物園について、摂南大学薬学部附属薬用植物園との連携を構築し、植物と生活との「つながり」、薬用効能などの「まなび」を共有できる空間の創出。	3	生涯学習市民センター 《共通》 ・摂南大学薬学部附属薬用植物園から学術指導アドバイザーを招聘。 〈御殿山〉 ・4館連携での植物セミナーを実施。 御殿山はon-lineサテライト会場として開催3/17（参加3名） 〈菅原〉 ・4館連携での植物セミナーを実施。 菅原はon-lineサテライト会場として開催3/17（参加5名） ・上記on-line事業内容を変更し、植物セミナーを開催3/25（参加29名） 図書館 〈御殿山〉 ・3月に植物主題コーナーに案内を掲示。 〈菅原〉 ・生涯学習市民センターで展開されている「まちなか植物園：すがわら植物部」に連携し、季節ごとに内容を変えて関連図書を常設展示。 【目からウロコ！の植物分類学】の案内を図書館のHPにおいて特集PRと併せておこなう。	3	4館合同で植物セミナーを実施し、新たな取り組みがされているため、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。オンライン実施は参加者が少ない傾向がみられる。より多くの方が参加したいを思えるような魅力的な事業実施をお願いしたい。
・施設入口自動扉にビジターカウンターの設置を検討し、運営状況の把握から施設全体の来館者増加を推進。	3	生涯学習市民センター 〈御殿山〉 ・昨年度より、ロビー出入口2か所にカウンターを設置し、日々のロビー利用者数やイベント来館者数のカウントに活用。 ・枚方市美術推進委員協議会で、実際の手動カウントと一度行い、自動カウントとの差異から係数を導き出すことで、各事業や来館者数のより正確な記録につなげるようご意見をいただいた。この取り組みは、次年度6月開催の「御殿山フェスタ」にて実施予定。 〈菅原〉 ・こどもコーナーにカウンター設置（2024年3月）。カウンター数値は毎日記録し、今年度の数字をベースに来年度以降、利用者数が少ない時期の活用案を検討。カウンター103に対して、6名利用（目視で1日5回チェックした数値）など、同じ子どもの出入りが多く、実際の利用人数と異なるため、設置場所を玄関自動扉に変更し、施設全体の利用人数や、ロビー利用者の分析資料として活用を再検討。	3	大型イベントにおいてビジターカウンターを活用し来場者の把握をされていたことから、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。しかし、カウンターは、来館者数ではなく通過者数をカウントするため、提案書にあるような「時間帯別・月別・年単位での退館者数分析」にどこまでつながるかが未知数部分がある。 今後より実態に即した利用者サービスの向上につなげてほしい。
・有線放送、BGMセットリストを掲示するなど、館内BGMなどを用いて憩いの空間を演出。	3	生涯学習市民センター 〈御殿山〉 ・企画展でBGMおよびBGMVを演出として効果的に実施。 ・作品合同展でサウンドアートコンサートの作品展示にQRコードを読み取り作品と連動した音源を視聴できるよう工夫した。（10月） ・アトリエ美術館では展示仕掛けにスピーカーを仕込みワークショップの音源を展示の一部として期間中流した。（11-12月） 〈菅原〉 ・市民の歓談や非定型のグループ活動の場となっているMOKU内にて、快適性向上のためのBGM開始。（9月）	3	館内BGMによる空間演出がなされているため、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。今後計画書にあったように市民の来館動機となる仕掛けとしてのBGMも検討してほしい。
・植え付けや収穫までを体験できる参加型の緑のカーテンの実施。	3	生涯学習市民センター 〈御殿山〉 ・参加型緑のカーテン次年度実施予定。 〈菅原〉 ・駐車場白フェンス付近で豆3種、マリーゴールド、アサガオ等に加えて、小松菜、はつか大根、ほうれん草などの野菜類を栽培。 ・栽培したそら豆はMOKUで実施した図書館連携事業もがたりワークショップでも活用。生育状況をSNSやセンターだよりで発信。 図書館 〈菅原〉 ・図書館南側出入口傍でゴーヤを栽培し、生育状況をSNSで発信。	3	菅原施設でゴーヤのほか、花や野菜の栽培を行っていることから、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。今後は参加型の取り組みも実施してほしい。
生涯学習市民センターの設置目的等を踏まえた事務所サービスが具体的に提案されている（確認事項16）				

	・写真記録サービス、チラシ作成サービス、荷物受取サービスなど事務所サービス。	3	生涯学習市民センター 《共通》 新たな事務所サービスを開始（12/1～） ・テラベル機貸出サービス ・チラシ作成用フォーマット提供 ・イベント利用向け宅配便受け取りサービス 《御殿山》 ・利用伸び悩みのため、次年度図書館の貸出カウンターにて、新事務所サービスを紹介する提案型チラシを配布予定。地域住民への認知度向上と利用促進を図る。 ・個展等開催時に案内はがき作成サービス実施。（上期3回）（下期3回） ・ポスター等大判プリントサービス実施。（上期48枚）（下期11枚）	3	テラベル貸出サービス、チラシ作成用フォーマット提供など、提案内容が実施されていることから、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。今後もより利用者目線に立ったサービス展開を行ってほしい。
生涯学習市民センターの魅力アップのための施設・備品等の改修・改善に向けた取組について具体的なアイデアが提案されている（確認事項17）					
	・施設の特徴を深堀し「中庭と一体的なギャラリー」へ進化を目指した照明設備の更新や大型ガラスにフィルム施工といった御殿山施設における改修・改善。	3	《御殿山》 ・大型ガラスフィルム施工（R5年度実施済） ・カーペット貼替（R5年度実施済） ・美術関連の寄贈書籍用本棚の設置（5月） ・展示斜台2台購入（10月） ・調光スポットライト2台増設（2月）	3	計画どおり利用者ニーズに沿った改修・改善等を行っていることから、本市要求事項水準は満たしているは判断する。
	・エントランスロビーの緑があふれる空間や来館者の憩いの空間を演出といった菅原施設における改修・改善。	3	《菅原》 ・植栽の盗難といった課題を踏まえ、心地よい空間の再構築に取り組んだ。まずは図書館と連携し、ゴムの木の鉢植えとデザインチェアを設置し、2階ロビーとは異なる雰囲気「まちなかサロン」を1Fエントランスロビーに実現した。 ・1階玄関の植栽の盗難対策については、図書館と連携し次年度に実施予定。 ・MOKUでは、心地よい空間づくりの一環として以下の取り組みを実施。 自動扉改修（6月）鉢植えでの植物栽培継続実施。菅原植物部で栽培した植物で作ったリース等を展示。BGMを流す運用開始。（9月） ・2Fロビーと受付では、利用者にとって心地よく、機能的な空間づくりを推進した。 10月には水槽や植物の配置を見直し、視認性を高める工夫を実施。2月には受付窓口に花を装飾し、季節感と温かみを演出。また、展示会の内容に応じて照明の位置や数を柔軟に調整するなど、通年を通じて空間演出に配慮した取り組みを行った。	3	施設全体に居心地の良い環境づくりに努められているため、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。 2階ロビーだけでなく、1階エントランスロビーについても、植栽をはじめとした居心地のよい空間づくりに取り組んでいたきたい。
(ウ) 改善提案（図書館）					
図書館の新規登録者を増やすための取組みが提案されている（確認事項18）					
	・鮮度の高い情報発信として、2週間のサイクルでテーマ展示を企画する（通年）。	3	図書館 《共通》 テーマ展示においては、いろいろな主題を含めて展示しており、利用者の方にはワクワクするような図書との出会いを提供したいとの主旨で設けている。※別紙参照 図書館窓口アンケートでは、「特集コーナーの本が良くてよく借りします。今後もぜひ続けてください」とのお声あり。特集は、スタッフが持ち回りで担当し、館内整理日にテーマについて、情報を共有。特集の入替をしている。 《御殿山》 ・総合1か所（月2回入れ替え）、児童向け1か所（2か月ごと入れ替え）、YA向け1か所（月1回入れ替え）の展示実施。※別紙参照 年間実績 成人：計54回 児童：計48回 《菅原》 ・総合1か所（月2回入れ替え）、児童向け1か所（2か月ごと入れ替え）、YA向け1か所（月1回入れ替え）の展示実施。※別紙参照 年間実績 成人：計46回 児童：計69回	3	特集コーナーは両施設ともに工夫を凝らしたテーマ設定がされていることから、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されていると判断できる。利用者にも好評であることを確認した。特集コーナーは、利用者にとって新たな知識や、思いがけない本との出会いのきっかけのひとつとなる場所であり、引き続き鮮度を保ちながらの取組みに期待する。
	・展示図書の一覧表の配布や、ホームページやSNSを活用し、プッシュアップ方式にて発信する。また、X（旧Twitter）の機能を活用し、利用者と双方向で情報を発信するサイネージを設置し、イベント情報、自学・自習室の空き状況などもリアルタイムで発信。	3	図書館 《共通》 ・特集展示の入替に伴い、図書館ホームページ及びSNSに掲載して、展示図書リストを添付し、印刷できるようにしている。 ・公式Xにて配信した記事が館内設置のデジタルサイネージにも表示し、イベント情報や自習ルームの空き状況、新刊案内とともに利用者に見てもらえるようにしている。 ・HPのみならず、Facebook、公式X、Instagramにて情報の発信を行っている。サイネージを設置済。	3	Xを活用した新着本紹介は頻りに更新されており、積極的に情報発信を行っていることから、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。引き続き情報の鮮度維持を心がけ、速やかな情報発信に努められたい。ホームページは利用者が使う重要な確認ツールであるため、担当を決めて更新漏れのないよう、確実なHP発信に努められたい。また、次年度には自習ルームの利用に際し図書館の新規登録につながる、また展示図書の貸出につながるなど、取組みの具体的な評価や検証も行われたい。
	・未利用者地区へのアプローチとして、図書館システムのエリア別利用者統計機能を活用し、利用率の低い地区へポストイングを強化。	3	図書館 《御殿山》 ・エリア別利用統計機能を活用して、11/4より3,110枚ポストイングを実施。 Licsでの住所別利用者登録者数統計より、新規登録者数を抽出。 ・令和6年10月度と令和6年12月度を統計比較で、新規登録者12名の登録者数の増加につながった。	3	御殿山では登録者数の増加につながる効果的なポストイングになった点が評価できる。図書館システムから新規登録者数を抽出し、効果検証も行われたもので、引き続き周辺地域の図書館への登録状況の分析に努められ、継続的かつ効果的な取組みとなるよう期待する。菅原図書館については、次年度に過正かつ効果的に実施されたい。
	・商業施設や商店街等でのアンケート調査の実施（年1回以上）	3	図書館 《御殿山》 ・御殿山神社の秋祭の開催に合わせ、図書館の案内を配布しながら参拝者の方から図書館について聞き取りアンケートを実施。（10/18～19）2日間で18名の方に記入していただいた。 《菅原》 ・近隣の商業施設において、菅原図書館の案内をおこないながら来館者アンケートを11/15に実施。70名の方が協力。「利用したことがない：7名」「以前利用していたが、今は利用していない：20名」「利用している：43名」の内訳結果となる。	3	アンケートの実施を確認したことから、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。次年度においても、より多くの回答を得られるように実施場所等を検討の上アンケートを実施し、回答を分析、活用することで、来館者に向けた事業展開を検討・実施される取組みに期待する。
	・利用方法をホームページや動画コンテンツにて配信する。また、ホームページからユニバーサルガイド（バリアフリーガイドブック）をダウンロードできるコンテンツを導入。	3	図書館 《共通》 ・ホームページより利用方法の動画コンテンツの配信とユニバーサルガイド（バリアフリーガイドブック）のコンテンツを設置済。	3	動画コンテンツの配信を確認したことから、本市要求事項水準を満たし、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。ICTがシステム導入後については、適宜必要な更新をされることに期待する。
図書館の来館者を増やし、貸出冊数を増やすための取組みが提案されている（確認事項19）					

・数値目標の達成 【貸出冊数】御殿山図書館：185,640冊 菅原図書館：300,000冊 【来館者数】御殿山図書館：55,000人 菅原図書館：95,880人	3	図書館 《共通》 ・左記「来館者数」は「利用者数」の目標値である。 《御殿山》 ・年間 貸出冊数：235,813冊 利用者数：113,980人 ・達成度 貸出冊数 127.0% 利用者数 207.2% 《菅原》 ・年間 貸出冊数：404,604冊 利用者数：209,494人 ・達成度 貸出冊数 134.8% 利用者数 218.4%	3	両施設ともに数値目標を達成していることを確認したことから、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。これは図書館の基本的な業務に加え、様々なアプローチで事業を展開している効果の表れと評価できる。
・非来館者の意識調査を実施し、利用者の意見を取り入れた運営を行う。	3	図書館 《御殿山》 ・御殿山神社の秋祭の開催に合わせ、図書館の案内を配布しながら参拝者の方から図書館について聞き取りアンケートを実施。(10/18～19) 2日間で18名の方に記入していただき、図書館の案内をした。3名の方から「書架の一番下の段の書名が見えにくい」とのご意見をいただく。館内会議を行ない、最下段の書架に配架しないことに決定し、運営に反映させた。 《菅原》 ・近隣の商業施設において、菅原図書館の案内をおこないながら非来館者アンケートを11/15に実施。70名の方が協力。 ・「蔵書が豊富で最新の内容の本がある・新刊本を読める」この様な図書館を希望される方が多いことから、蔵書構成の充実に努めている。	3	非来館者へのアンケート調査は図書館利用促進につながる取組みを企画するうえで貴重な資料となることから、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。次年度以降にはサンプル数を多く得られるような工夫も凝らされたい。
・春のスタンプラリーの実施（4・5月）	3	図書館 ・春のスタンプラリー 《共通》 ・4/23～5/12 《御殿山》 ・参加者 300名 《菅原》 ・参加者 364名	3	両施設ともに春のスタンプラリーを実施したことを確認したことから、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。毎年多くの参加があり、継続的な図書館利用にもつながるもので、定着した事業として継続しての実施を期待する。
・貸出期間より短いサイクルでの来館を促進する一環としてのスタンプラリーの実施（8月～3月）	3	図書館 《御殿山》 ・夏のスタンプラリー 7/19～8/31 参加者 300名 ・「2024秋のどよかんスタンプラリー」 10/26～11/30（参加者 300名） 《菅原》 ・すがわら夏まつり2024「おぼけちゃんをさがせ！」スタンプラリー 7/20～8/25（参加者 600名） ・秋のスタンプラリー「秋のどよかんスタンプラリー2024」 10/26～11/10（参加者 400名） ・冬のスタンプラリー「くまunkからのプレゼント」 12/24～1/8（参加者 300名）	3	両施設ともにスタンプラリーは定着した取組みで、図書館への来館の動機づけのひとつでもあるため、読書活動推進に寄与し、本市要求事項水準をみたとしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。
・夜間時間帯の利用促進として18時以降に実施するワークショップや講演会などの「よるとしよ」を開催。 (御殿山：11月、菅原：5, 8, 10, 11, 3月)	3	図書館 《御殿山》 ・「よるとしよ はじめての大人レジン レジンでオリジナルのチャームを作ろう」3/29（参加者5名 定員6名） 《菅原》 ・「よるとしよ星空教室：春の星座」5/11（参加者 12名 定員 10名） ・「よるとしよコーヒー珈琲入門講座」6/29（参加者 10名 定員 10名） ・「よるとしよ星空教室：夏の星座」8/24（参加者 13名 定員 10名） ・「よるとしよ星空教室：望遠鏡ですい星を見よう！」 (紫金山・アトラス彗星) 10/19（参加者 8名 定員10名） ・「よるとしよ星空教室：秋の星座」11/16（参加者 6名 定員 10名） ・「よるとしよコーヒー珈琲入門講座」11/30（参加者 10名 定員 10名） ・「よるとしよ大人のための星空教室」3/15（参加者 10名 定員 10名）	3	御殿山は事業計画書に記載の回数、菅原は記載の回数以上の事業実施を確認したことから、本市要求事項水準を満たし、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。定員は少ないが参加状況はよく、次年度以降も計画回数を縛られずに事業を企画・実施されたい。
・生涯学習市民センター内での、新着図書やイベント案内の設置。また、図書館内にも生涯学習コーナーを設置し、相互告知体制を構築。	3	図書館 《共通》 ・生涯学習市民センターのロビーに図書館用の常設の掲示板を昨年より設置し、新着図書のコピーやイベントのポスターを継続して掲示している。 ・生涯学習市民センターのイベント開催時には、ポスターを掲示するとともに、カウンターにもチラシを置いている。	3	生涯学習市民センターのみを利用される方、又はその逆の方を意識した取組みは新たな施設利用につながる取組みとして評価できるもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。掲示物の鮮度を保つことを意識して情報発信に努められたい。
・生涯学習市民センター開催事業に関連した図書紹介。	3	図書館 《共通》 ・センター主催のイベントに合わせて、電子図書館特集を開催。 《御殿山》 ・美術センターや大阪府下の美術展のテーマに関連した図書を集展として常時展示。 「古代メキシコ」3/26～4/21、「雪舟」4/22～5/26、「大阪美術学校創立100年」5/27～6/23、「仏像」6/24～7/21、「イラスト」7/22～8/25、「写真集」8/26～9/22、「印象派」9/23～10/28、「正倉院展」10/29～11/24、「不思議なアート」11/25～12/23、「歌川国芳」12/24～1/26、「骨董・アンティーク」1/27～2/23、「絵手紙」2/24～3/23 《菅原》 ・生涯学習市民センター：「すがわら植物部」に連携した特集展示（常設） ・すがわら植物部：「おすすめ」4/1～4/30「豆」5/1～6/30 5/28～6/30 「夏」7/1～8/31「多肉植物」9/1～9/30「多肉植物・だいこんとかぶ」10/1～1/31「植物と野菜」2/1～2/28「春」3/1～3/31 ・ガラス窓に絵を描こう：「恐竜」5/16～5/31「うみのいきもの」7/16～8/21 「のりもの」11/1～11/30「お菓子」1/12～1/31 ・ものがたりワークショップ：「いろんな豆」5/28～6/30 ・手話教室：「手話」7/19～8/10 ・地域コンサート：「クラシック音楽」9/1～9/30	3	御殿山図書館における施設の特性を活かした特集は興味深く、菅原図書館もすがわら植物部に連携した展示を常設している。センター開催事業に関連した図書紹介は新たな本や知識との出会いの場として来館者向けに提供されているものと評価でき、本市要求事項水準を満たし、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。
図書館の魅力アップのための施設・備品等の改修・改善に向けた取組みについて、具体的なアイデアが提案されている（確認事項20）				
・図書館でのイベント内容を内外に発信するため、SNSと連動したデジタルサイネージの設置。	3	図書館 《共通》 ・デジタルサイネージを閲覧室に設置済。 ・Xに掲載した「新刊図書」や「開催イベント」などの情報を表示している。	3	両施設とも情報の鮮度を保つよう発信されていることを確認したことから、本市要求事項水準を満たしているものと判断できる。事業計画書のとおりSNSで募った利用者の声を、デジタルサイネージで情報発信するなどの取組みを確認した。
・図書館利用者向け無料Wi-Fi環境を整備し、オリジナルコンテンツの提供。	3	図書館 《共通》 ・オリジナルコンテンツ「動く絵本」は、Wi-Fi環境を整え、運用を開始した。 《御殿山》 ・年間使用回数累計 合計 46回 《菅原》 ・みどりのとしよしづに（リノベーションコーナー）に何時でも利用できるように設置。個別統計は取って	3	オリジナルコンテンツの「動く絵本」はWi-Fi環境を整え、タブレット端末で閲覧できることを確認したことから、本市要求事項水準を満たしているものと判断できる。事業計画書のとおり、利用者所有のスマートフォンでも利用できる「電子雑誌」についても早期の提供に努められ、多くの利用につながることを期待する。

・書籍除菌機を2台設置。	3	図書館 《共通》 ・各館に2台の設置済。 〈御殿山〉 ・年間使用回数累計 合計 6,266回 〈菅原〉 ・年間使用回数累計 合計 12,737回	3 書籍除菌機の設置を確認したことから、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。引き続き利用者にとって図書館を快適に利用できる環境整備に努められたい。
・図書館懇談会の実施。	3	図書館 〈御殿山〉 ・「図書館懇談会」12/14（参加者4名定員10人） ・複数の方から、大人向けに「絵本を学ぶ講座」を求めるお声があり、絵本講師による「絵本を楽しむ集い」、絵本セラピストによる「大人のための絵本セラピー」、絵本専門士による「絵本講座」を開始する。実績については、確認事項30を参照。 〈菅原〉 ・「図書館懇談会」2/10（参加者9名 定員10名） ・「図書館前のエントランスを親子で楽しめる空間にしてください。」とのご意見をいただきました。これまでも、「すがわら夏まつり」や「よしおかアコさんと絵本作り」などのイベントを開催しているが、センターとも連携を図りながら、心地よい「場」の提供に努める。	3 参加者数は少ないものの、利用者懇談会の開催は、図書館として利用者へ直接向き合うものとして評価できるもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。利用者から出された意見については、反映できるものは反映し、無理なことについても丁寧な説明を行い、図書館と利用者の良好な関係構築に取り組まれたい。
・書架サインや案内板の変更を行い、利用者にとって分かりやすい館内案内の実施。	3	図書館 《共通》 利用者がわかりやすいように、書架表示を随時変更している。 御殿山〉 ・案内ポップを追加。 〈菅原〉 ・絵本の見出しサインを変更済。	3 利用者に配慮した書架表示を確認したことから、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。利用しやすい環境整備が図られていることは評価できる。引き続き利用者の立場から施設の状況を確認し、適宜適切な対応を図られることを期待する。

利用者の課題解決を支援するレファレンスサービス等について具体的なアイデアが提案されている（確認事項21）					
	・パスファインダーの作成。（6，9，12，3月）	3	図書館 《共通》 ・各館にそれぞれに、利用者のニーズが見込まれる内容で年2回作成する。印刷したものを各館内に設置し配布するほか、図書館ホームページや館内で利用できる貸出用iPadに掲載。今後も継続的に更新を実施。 ・2024年度作成パスファインダー 〈御殿山〉 ・「終活について調べる」9月作成。 ・「クロード・モネについて調べる」3月作成。 〈菅原〉 ・前期：「偉人」9月作成。 ・後期：「子育て」2月作成。	3	パスファインダーは新たなものを作成するだけでなく、更新が行われている点も評価できるもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。他市事例も参考にしながら、本市の独自色も意識し、引き続き取組みに期待する。
	・ケーススタディによるロールプレイング式のスタッフ研修を実施し、レファレンスツールについての活用を行う。	3	図書館 《共通》 ・実施済 ・レファレンススキル向上のために、国立国会図書館「リサーチナビ」や「レファレンス共同データベース」などを活用し、館内整理日や必要時にレファレンス研修を行っている。 ・ロールプレイング式の研修は、1月に実施。	3	スタッフのレファレンススキルの向上は、図書館サービスの向上につながるもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。フロアワークの充実も図りながら全館的な水準向上に努められたい。
	・レファレンス担当を設置し、腕章を着用させて館内巡回の実施。	3	図書館 《共通》 ・レファレンス担当者は「相談員」の腕章を着用し、図書館は利用者へ調べもののサポートを行っていることのPRや、利用者がお声を掛けやすいようにしている。	3	腕章の着用は、読書相談も図書館の担う大切な役割のひとつであることの周知につながる機会のひとつとして評価できるもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。腕章着用者以外のスタッフについても、フロアワークの一環として読書相談の取組みを充実されたい。
	・定期的なスキルアップ研修の実施とレファレンススキル検定制度の導入。	3	図書館 《共通》 ・レファレンス認定制度の仕組みとして、定期的なスキルアップ研修を行っている。 ・スタッフのレファレンススキル状況に応じて、★1つから★5つまでの社内検定を受ける。社内検定に合格したスタッフの名札に★印を記載。	3	レファレンス認定制度を導入していることは、スタッフのモチベーション向上につながるもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。継続して取組まれ、★の取得者については★数を増やすことに加え、新しく★を取得する職員を増やすようにも努め、館全体でのレファレンススキルの向上が図られていくことに期待する。
	・利用者のセルフレファレンス能力の向上として、図書館の使い方講座を開催。	3	図書館 《共通》 セルフレファレンス能力の向上として、パスファインダー、商用データベースを用意している。 〈御殿山〉 ・図書館活用講座を、9/21に開催。わかりやすい検索の方法を記載した「図書館マスターになろう」の説明冊子を作成し、説明した。（参加者3名 定員5名） 〈菅原〉 ・「電子図書館やさしい使い方説明会」実施。1/18（参加者1名 定員6名） 「やさしい電子図書館の使い方」説明書を作成し配付した。	3	図書館は課題解決に活用できる施設であるとの認知度を高める取組みとして、図書館活用講座の開催は評価できるもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できるが、参加者数が少ない点ため、より利用者の関心を引くテーマ設定など、さらに工夫されたい。講座の開催以外にも、日常のフロアワークやレファレンスへの対応時には、知りたい情報にたどり着く説明なども行いながら、利用者のセルフレファレンス能力向上にもつながるよう工夫されたい。
	・図書館専用の商用データベースと専用パソコンを設置し、利用者が自己調査できる環境を整備。	3	図書館 《共通》 ・商用データベースと専用パソコンを設置済。今後、利用者の利用統計を記録していく。 〈御殿山〉 ・官報情報検索サービス。 〈菅原〉 ・農文協「ルーラル電子図書館」 ・官報情報検索サービス。	3	商用データベースの設置を確認したことから、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。商用データベースは利用者の抱える課題によっては有用なツールであるため、どのような課題にはどのデータベースを使うかなど、事例紹介も含め、利用者へ広く周知する取組みの充実に期待する。また、利用状況に応じ、データベースの入れ替えや追加なども検討されたい。
	（Ⅰ）事業提案（生涯学習市民センター）				
	生涯学習市民センターの設置趣旨等を踏まえ、生涯学習市民センターの活性化や利用者数の増加につながるような自主事業が具体的に提案されている（確認事項22）				
	・地域コンサートシリーズの実施。	3	生涯学習市民センター 〈御殿山〉 ・視覚より聴覚に焦点を当てイメージを作品にする「サウンドアートコンサート」開催 8/4（参加者42名/大人34名子供8名 定員40名） 出来上がった作品は「作品合同展」10/17-20で展示した。（41点展示） 〈菅原〉 ・「クラリネットとピアノで奏でる 愛を語る名曲たち」9/14 （参加者計71名 定員100名）	3	両施設とも地域コンサートを実施しているため、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・生涯学習講座「もっと知りたい枚方市の取り組み」の実施により、現役世代や子ども世代への働きかけの強化。	3	〈御殿山〉 ・生涯学習講座「ひらかた健康増進計画膝痛について知ろう」実施。3/11 （参加者29名 定員30名） 〈菅原〉 ・もっと知りたい枚方市の取り組み「ひらかたポイント活用術」12/14 （参加者19名 定員20名）	3	両施設とも「もっと知りたい枚方市の取り組み」事業の実施を確認したため、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・日本語・多文化共生教室といった社会教育事業の実施（菅原施設）。	3	生涯学習市民センター 〈菅原〉 ・日本語よみかき教室 毎週火曜午前・土曜午後実施。	3	両施設とも日本語・多文化共生教室を実施していることから、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・人形劇関連事業の実施。	3	生涯学習市民センター 《共通》 ・サンサン人形劇場を実施。 〈御殿山〉 ・第369回「サンサン人形劇場」を1/19実施（参加者61名 定員60名） 〈菅原〉 ・第370回「サンサン人形劇場」を2/16実施（参加者57名 定員80名）	3	両施設とも人形劇関連事業を実施していることから、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・地域の大学との連携したマナビスト講座の実施。また、ネット回線をつなぐことで両施設の市民が等しく「まなび」の機会を共有できる環境の整備。	3	生涯学習市民センター 《共通》 ・「目からウロコ！の植物分類学～世界のあれやこれや～ 3/17 楠葉本会場（参加者26名 定員30名） 御殿山サテライト会場（参加者3名 定員30名） 菅原サテライト会場（参加者5名 定員30名） 津田サテライト会場（参加者6名 定員30名） 〈御殿山〉 ・マナビスト講座「塔本シソコが花開いた枚方ライフ」実施。10/27 （参加者47名定員40名） ・マナビスト講座「大阪美術学校創立100年記念 学校で学んだ南画家たち」実施。 11/3（参加者19名定員70名） 〈菅原〉 ・マナビスト講座「なつやすみ手話講座」8/6（参加者32名 定員30名）	3	摂南大学及び大阪工業大学と連携した講座を開催した。そのうち摂南大学は、薬学部付属薬用植物園の学術指導アドバイザーによる植物セミナーを、ネット回線をつないで他の3館をサテライト会場として配信していることから、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。ネット配信については、集客客が図れるよう実施内容や周知手法などを検討されたい。

	・活動委員会事業の実施。また、事業開催日に、最寄り駅から施設までの間における送迎サービスの検討。	3	生涯学習市民センター 〈御殿山〉 ・活動委員会事業の事業を事務局として実施。 「第36回作品合同展」にあわせて 10/20 10～14時 15分毎駅⇄センター ジャンボタクシー送迎サービス実施。(上り25名下り20名合計45名乗車) 〈菅原〉 ・活動委員会事業、活動委員会陶芸部会の事業を事務局として実施。 ※送迎サービスについては次年度以降に実施予定。 ※別紙参照	3	両施設とも活動委員会事業を実施していることを確認していることから、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・実行委員会事業の実施。	3	生涯学習市民センター 〈御殿山〉 ・「第26回御殿山フェスタ」開催。6/8～9 来場者数4,115名 ・「第36回作品合同展」実施。10/17～20 来場者数523名 〈菅原〉 ・「すがわらサークル発表会」開催。10/27 来場者数850名	3	両施設とも実行委員会事業を実施していることを確認していることから、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・地域連携事業の実施し、地域共創の取り組みの推進。	3	生涯学習市民センター 〈御殿山〉 ・「Our Light Project ～町の未来を照らす灯りを～」10/26 渚商店会に協力する形で開催。お絵かきコーナー・コスチューム作り＆ハロウィン仮装撮影ブース・灯ろうアート制作ワークショップなど開催。(参加者50名) 〈菅原〉 ・「すがわらサークル発表会」にてあいふぁーむ(株式会社プリム) 臨時出店。お弁当50食が完売。 10/27実施。	3	両施設とも地域連携事業の実施を確認しているため、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。今後とも地域との連携を深めるための事業を積極的に企画・開催いただけることを期待する。
ウィズコロナの観点から、SNS・動画配信サービス等を活用した具体的な事業が提案されている(確認事項23)					
	・WEBを活用した多様なコンテンツの展開。	3	生涯学習市民センター 《共通》 生涯学習情報提供のためInstagram「まなびのタネ」を公開。枚方まなびつながりプロジェクト4施設 共通のSNSアカウントを立ち上げ、写真や動画などのコンテンツ配信を行うことで施設利用の少ない子育て、現役世代へのアプローチを実施。新規利用者を拡大を図った。 コンテンツ投稿 63 インプレッション 2,166 フォロー 218	3	Instagram「まなびのタネ」が公開されており、WEBを活用したコンテンツが展開されていることから、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・大人の絵り絵倶楽部や子ども工作教室といったデジタルとリアルの連動事業の実施。	3	生涯学習市民センター 〈御殿山〉 ・リアル「こども工作教室」2025年度実施予定 〈菅原〉 ・「プロマジヤンから学ぶマジック教室」開催。2/8 リアル会場の様子をライブ配信。(リアル会場参加者28名 ライブ配信参加者10名)	3	菅原で「プロマジヤンから学ぶマジック教室」をライブ配信していることから、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。実施できていない御殿山の工作教室についても、令和7年度確実に実施していただきたい。
生涯学習市民センターと図書館との施設連携事業の実施について、具体的に提案されている(確認事項24)					
	・子どもや家族で楽しめたり、本を通して「まなび」「つながり」を体験できる事業の年4回以上の実施。 (「ほんのへや」、「ものがたりワークショップ」など)	3	生涯学習市民センター 〈御殿山〉 ・図書館と連携し「たかだしんいち絵本原画展」4/2～4/29 (来場者3,097名) ・「御殿山フェスタ」みんなで絵本を楽しむ集い 6/8～6/9 ・ほんのへや (図書館おはなしのへや) 6/8 (参加者67名) ・絵本講師によるおはなしワールド 6/9 著作権を承諾した絵本を大きなスクリーンに投影して開催。(参加者55名)	3	両施設とも、センターと図書館の連携事業を4回以上実施していることから、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
			・「真夏のだいぼうけん！5つのミッションをクリアしよう！」7/19～8/30 (参加者300名 先着300名) ・オープンごてんやま「おりがみでうちわをつくろう」8/4 (参加者31名 フリー参加) ・「AIロボト termiプログラミング教室」8/18 (参加者 午前の部3名 午後の部5名 定員各5名) ・セルフケアで体質改善 若さと美と健康を保つ方法10/26 (参加者37名 定員40名) ・「2024秋のとしよかんスタンプラリー」10/26～ (参加者300名 先着300名) ・はるかせ手作り市〈オリジナルの缶バッチを作ろう！〉3/8 (参加者68名 フリー参加)		
			〈菅原〉 ・ガラス窓に絵を描こう：恐竜 5/18 (参加者 7名 フリー参加) ・ものがたりワークショップ「そら豆」のブックワークと工作6/8 (参加者 10名 定員10名) ・服部美法さん講演会 福を招くおふくさん16/16 (参加者 31名 定員25名) ・ガラス窓に絵を描こう：うみのいきもの7/20 (参加者 21名 定員親子6組) ・ほんのへや 10/12 (参加者 57名 フリー参加) ・「2024秋のとしよかんスタンプラリー」10/26～11/10 (参加者400名 先着400名) ・ガラス窓に絵を描こう：のりもの 11/2 (参加者 14名 定員親子6組) ・ガラス窓に絵を描こう：お菓子 1/25 (参加者 12名 定員親子6組)		
生涯学習市民センターの夜間の利用者数の増加に向けた事業等が具体的に提案されている(確認事項25)					
	・ビジネスセミナー、夜間時間帯に活動する団体の多い音楽ダンスサークル向け発表会の企画といった現役世代、若者世代向けのイベント、セミナーの実施(菅原)。	3	生涯学習市民センター 〈菅原〉 ・夜間のビジネスセミナー「将来に向けて知っておきたいお金の話」3/14 (参加者 11名 定員40名)	3	ビジネスセミナーの実施を確認。本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・夜の時間帯を活用した各種創作講座や創作室の個人利用についての企画を行うなど、施設の特徴を活かした利用促進の実施(御殿山)。	3	生涯学習市民センター 〈御殿山〉 ・よるの創作講座「PHOTOGRAPHY Lab」キックオフミーティング開催。2/21 (参加者16名 定員15名) ・映像アドバイザーによる「PHOTOGRAPHY Lab」開催。2/22 (参加者28名 定員15名)	3	夜の時間帯を活用した事業の実施を確認。本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
菅原施設のコミュニティスペースMOKUを活用した事業について、具体的に提案されている(確認事項26)					
	・人や自然と「つながる」をコンセプトに事業を実施。	3	生涯学習市民センター 〈菅原〉 ものがたりワークショップ「絵本の読み聞かせと工作」16/8 (参加者10名 定員20名) ・あいふぁーむによるドリンクサービス継続実施。 ・すがわら植物部の水栽培サボテン、収穫物で作ったリースを展示する棚設置。	3	人や自然と「つながる」をコンセプトにした活動を確認。本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
御殿山生涯学習美術センターの展示ケース等を用いた展示事業をはじめ、様々な美術事業が、具体的に提案されている(確認事項27)					
	・年3回以上、初心者向けの実技講座の実施。	3	生涯学習市民センター 〈御殿山〉 ・実技講座「岩絵の具と麻紙で日本画を描いてみよう」4/7～7/7 (全8回) (参加者25名定員25名) ・実技講座「クロッキー」人物を描こう！8/8～9 (全2回) (参加者6名定員6名) ・実技講座「創造的ドローイング」11/24～12/22 (全5回) (参加者19名定員20名)	3	年3回、初心者向けの実技講座を確認したことから、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・アートと市民や地域が「つながる」展覧会」として、企画展「アトリエ美術館」。	3	生涯学習市民センター 〈御殿山〉 ・アトリエ美術館Vol.28「スローイング・スパゲッティ」11/23～12/22 御殿山商店会店舗と空き店舗をレンタルし期間中街中アート展示実施	3	アトリエ美術館活動を確認したため、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・アートフラッシュを企画し、若手・新鋭アーティストの成長や飛躍のきっかけとなるような支援の取り組みの実施。	3	生涯学習市民センター 〈御殿山〉 ・アートフラッシュvol.121三波晴佳展 5/16～29 ・アートフラッシュvol.122藤原カエラ展 9/15～29 ・アートフラッシュvol.123井村柊斗「見えない見られてない」展 9/30～10/14 ・アートフラッシュvol.124尾形優也「Restart」展 2/17～3/2	3	アートフラッシュ事業が実施されていることを確認したため、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。

・展示スペースには、年間を通して美術工芸品が展示されている状態となっているか。	4 生涯学習市民センター 〈御殿山〉 ・来館のたびに新しい展示に触れて頂けるよう、ギャラリー個展、ロビー展、その他企画展を開催した。 （上期 企画展 5回 アートフラッシュ 2回 ロビー展 4回 個展 3回）（下期 企画展示 3回 アートフラッシュ 2回 ロビー展 1回 個展 2回） （年間 企画展 8回 アートフラッシュ 4回 ロビー展 5回 個展 5回） ・吉水快聞展「～夢うつつ～」展 3/17/～3/30 ・関連ワークショップ「職金を体験する」3/22（参加者12名 定員10名） ・大阪美術学校100年記念展 第1期 6/1～6/30 第2期 8/5～8/25 第3期 10/23～11/10 ・アトリエ美術館vol.28「スローイング・スバググティ」 11/23～12/23 通年にわたり、多くの展示を行い、特に今年度はロビー企画展として、大阪美術学校創立100年記念の展示を通年実施。市内外関連施設および地域住民から貴重な作品を借用するなど、展示内容を充実させた。	4 年間を通して多くの展示が行われ、特に今年度はロビー企画展として大阪美術学校創立100年記念の展示を積極的に実施し、外部から作品を借用するなど、展示内容も工夫を凝らし提案以上に組み合わせたことを評価する。
・枚方市美術推進委員協議会委員・招へいする美術アドバイザーのアドバイスを事業に反映しているか。	3 生涯学習市民センター 〈御殿山〉 ・「大阪美術学校100年展」、「アトリエ美術館」開催にあたり枚方市美術推進委員協議会委員・招へいする美術アドバイザーのアドバイスを事業に反映している。	3 枚方市美術推進委員協議会委員等のアドバイスを事業に反映しているため、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。

菅原生涯学習市民センターにおける利用者の作陶経験等に応じた各種講座等の実施について、具体的に提案されている（確認事項28）				
・作陶経験に応じた講座や、子どもも参加できる親子講座など多様な陶芸講座を年に1回以上実施。	3	生涯学習市民センター 〈菅原〉 ・陶芸ワークショップ「お皿を作ろう」2/18（参加者9名 定員18名）	3	陶芸ワークショップの実施を確認したことから、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	3	生涯学習市民センター 〈菅原〉 ・活動委員会陶芸講座追加募集に事務局として助言、協力。 ・すがわら陶芸展2/15-2/22（来場者数626名）	3	活動委員会（陶芸部会）と連携した事業の実施を確認したことから、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
（オ）事業提案（図書館）				
図書館子ども読書活動推進計画の趣旨に沿った子ども向けの事業が提案されている（確認事項29）				
・乳幼児、児童の読書のきっかけづくり「ブックスタート事業」として、ブックスタートコーナーやブックリストの配布。	3	図書館 《共通》 ・乳幼児向けの「ブックスタート・コーナー」を児童コーナーの一角に設置。 〈御殿山〉 ・ブックスタートコーナーは、設置済。より子どもたちが使いやすくなるように、フロアマットを新たに設置。 ・ブックスタートコーナー利用者が図書を借りやすいように、図書展示用のブックトラックを常時設置。 〈菅原〉 ・リノベーションスペース（みどりの図書室）にコーナーを設置。 ・赤ちゃんにおすすめ本特集（常設） ・幼年文学特集（常設） ・児童向けブックリストを配布。	3	ブックスタートコーナーの設置を確認したことから、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。配架している図書については、資料の状態に留意され、更新が必要なもののについては、適宜更新されたい。
	3	図書館 《共通》 ・春のスタンブラリー4/23～5/12 〈御殿山〉 ・参加者 300名。 〈菅原〉 ・参加者 364名。 〈菅原〉 ・子どもの春のお楽しみ袋（福袋） くじ袋：4/23～5/12（80袋80冊）（参加者 80名 フリー参加） 赤ちゃん絵本袋：4/23～5/12（20袋60冊）（参加者 20名 フリー参加） ・おはなし会スペシャル4/27（参加者 5名 フリー参加）	3	ひらかた絵本まつりは市立図書館全体でのイベントであり、人気のスタンブラリーを開催するなど、精力的に取り組まれたと評価できることから、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおり運営されているものと判断できる。令和7年度についても、新規利用者の増加や、継続的な図書館利用につながるよう取組まれたい。
	3	図書館 〈御殿山〉 ・「図書館員によるおはなし会」 毎週日曜日 11：00～年少向き 11：20～年中向き ・たかだしんいち おはなし会 美術センター1Fロビーにて開催 4/27（参加者28名 フリー参加） 4/28（参加者22名 フリー参加） ・えほんのひろば 4/27（参加者32名 フリー参加）ボランティア団体と御殿山図書館のコラボ事業。 ・御殿山フェスタ スペシャルおはなし会おはなしワールド 6/9（参加者55名 フリー参加） ・絵本講師によるおはなし会 7/21（参加者10名 フリー参加）9/22（参加者11名 フリー参加）12/22（参加者22名 フリー参加） ・多言語おはなし会 11/24 スペイン語、韓国語、日本語で多言語おはなし会を開催。（参加者22名 フリー参加） ・絵本専門士によるおはなし会 12/22（参加者22名 フリー参加） ・北堀江音読教室によるおはなし会 12/7（参加者21名 フリー参加）1/12（参加者14名 フリー参加）、2/2（参加者32名 フリー参加）3/2（参加者30名 フリー参加）、3/20（参加者31名 フリー参加） 〈菅原〉 ・「図書館員によるおはなし会」 毎週土曜日 10：45～11：15（年間44回 参加者263名 フリー参加） ・「赤ちゃんを楽しむひととき」：乳幼児と保護者を対象。 毎週水曜日 10：45～11：15（年間48回 参加者355名 フリー参加） ・多言語おはなし会 日本語・韓国語・英語でのおはなし会 9/14（参加者 4名 フリー参加） ・多言語おはなし会：ねこの日のおはなし会 日本語・韓国語・英語でのおはなし会 2/22（参加者 10名 フリー参加）	3	定例のおはなし会以外についても、様々なアプローチで子どもの読書活動推進につながる取組みの実施を確認したことから、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。多言語おはなし会については、おはなし会の開催にあわせ、英語多読絵本や電子図書館の英語多読コンテンツの紹介も実施されたい。
	3	図書館 スタンブラリー・イベント ・みんなでこいのぼりをかざろう！4/23～5/12（参加者87名 フリー参加） ・「2024春のスタンブラリー」4/23～5/12（参加者300名 定員300名） ・「トレジャーハンター」6/1～6/15（参加者100名 定員100名） ・七夕かざり 6/24～7/7（参加者84名 フリー参加） ・「夏のスタンブラリー 真夏のだいぼうけん！ 5つのミッションをクリアしよう！」（参加者300名 定員300名） ・夏の工作遊び「レジンでキーホルダーを作ろう！」8/17（参加者10名 定員10名） ・秋のスタンブラリー10/26～11/10（参加者300名 定員300名） ・クリスマスツリーを飾ろう！ 11/27～12/23（参加者216名 フリー参加） ・よしおかアコさんとクリスマス絵本を作ろう！12/21（参加者6名 定員6名） ボランティア団体月曜会との協働事業 ・えほんのひろば 4/27 300冊の絵本をおはなしのへやに展示（参加者32名 フリー参加） ・なつのおはなし会 7/13（参加者17名 フリー参加） ・ふゆのおはなし会 12/14（参加者17名 フリー参加） 〈菅原〉 ・ペーパークラフトに挑戦！「車をつくろう」通年（参加者4名 フリー参加） ・ぬり絵に挑戦 通年（参加者252名 フリー参加） ・「月曜日図書館へ行こう：赤ちゃんといっしょ」幼児工作など。 第一月曜日（年間8回 参加者45名 フリー参加） ・星空教室：「春の星座」「夏の星座」「望遠鏡で星を見よう」「秋の星座」を実施。 子どもと保護者を対象（年間4回 参加者39名 定員各回10名） ・春のスタンブラリー 4/23～5/12（参加者364名 先着400名） ・秋のスタンブラリー「秋のとしかんスタンブラリー2024」 10/26～11/10（参加者 400名 先着400名） ・ブックトークとマーブリング 12/1：ブックトーク（参加者 4名 フリー参加）マーブリング（参加者 10名 フリー参加） ・よしおかアコさんと絵本作り 12/22（参加者17名 定員10名 保護者同伴可） ・冬のスタンブラリー「くまんなからのプレゼント」12/24～1/8（参加者 300名 先着300名）	4	スタンブラリーは両施設ともに人気の企画で、定着した取組みである。貸出冊数・来館者数の増加、リピート率向上がいずれも高く、本市要求事項水準以上の効果で、事業計画以上の取組であったものと評価できる。引き続きの取組とともに、新規利用者の増加につながるような工夫を凝らされることにも期待する。ワークショップについても100人を超える参加者のあった事業もあり、関連図書の紹介なども行いながら、参加者の継続的な図書館利用にもつながるよう取組まれたい。

・児童コーナーに児童テーマコーナー・調べる学習支援としての特集コーナーの設置。	3	図書館 〈御殿山〉 ・「ちしきの広場」として常時設置済。 ・「夏休み宿題大作戦」7/19～8/31 〈菅原〉 ・「赤ちゃんにおすすめ本」「幼年文学」常設特集展示。 ・「夏休み宿題大作戦」8/1～8/31	3	展示コーナーの実施を確認したため、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。季節を意識したものから、様々な切り口から本を集めたものまで、鮮度を保ちながら飽きのこないようなコーナーづくりを継続したことは評価できる。
・学校図書館への出張読み聞かせ・ブックトークの実施。	3	図書館 学校訪問おはなし会 〈御殿山〉 ・磯島小学校 11/21 2年生 2クラス ・殿山第一小学校 3/13 2年生 2クラス 〈菅原〉 ・申込校なし。	3	学校から申し込みのあった施設については、学校訪問おはなし会が実施されたことを確認したため、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに実施されているものと判断できる。
・市内の小中学校×枚方市立図書館の連携事業	3	図書館 〈御殿山〉 ・調べ学習で図書の提供 ・中学生の職場体験受け入れ 枚方市適応指導教室ルポ11/28、29実施。（2年生5名） ・小学校の学校訪問おはなし会の実施 磯島小学校 11/21（2年生2クラス） 殿山第一小学校 3/13（2年生2クラス） ・図書館見学の受け入れ 殿山第一小学校 6/21（2年生49名） ・町たんけん 殿山第一小学校 11/14（2年生2クラス） 〈菅原〉 ・調べ学習で図書の提供。 ・図書館見学の受け入れ。 菅原小学校 11/14（2年生 2クラス 75名） 田口山小学校 1/15（2年生 2クラス 60名） ・中学生の職場体験受入 長尾中学校 11/12～11/13（4名） 杉中学校 1/30～1/31（4名）	4	両施設とも図書館見学をはじめとする小中学校との連携が行われたことを確認した。引き続き近隣の小中学校との連携強化を図り、職場体験や図書館見学が図書館への理解を深める機会となるよう期待する。特に職場体験については、受け入れる生徒に応じて配架やおはなし会、POP作成など工夫を凝らし、図書館への関心を高め、理解を深める機会を生徒に提供したことは、本市要求水準以上に効果的に取り組まれたことと評価する。
・ヤングアダルト期の読書支援としてのYAのテーマコーナーや、独自のブックリストの作成。	3	図書館 〈御殿山〉 ・YA向け特集コーナーの常設書架を設置。 ・ブックリスト作成済。 〈菅原〉 ・YA向け特集コーナーの常設書架を設置。 ・ブックリスト作成済。	3	コーナー設置とブックリストの作成を確認したことから、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。いずれも適宜内容の更新に努め、鮮度を保つよう心掛けられたい。
・学校向けブックリストの配布（7月）	3	図書館 《共通》 ・学校訪問おはなし会・図書館見学などの機会に配布。	3	学校訪問おはなし会や図書館見学の実施にあわせたブックリストの配布を確認したことから、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。電子図書館の利用が多い世代なので、電子図書館内の特集の紹介や、英語多読のコンテンツ紹介などもあわせて検討されたい。
・中学校・高校の部活動との連携による館内装飾。	3	図書館 〈御殿山〉 ・なぎさ高校イラスト部の卒業記念作品として、イラストを提供を依頼、実施済。 〈菅原〉 ・菅原図書館「アートギャラリー」での部活動作品展示を近隣の中学・高校へ案内。 展示には至らず。	3	御殿山図書館については連携事業を確認できた。菅原図書館については、近隣の中学・高校への働きかけを行ったが実現には至らなかった点が残念。次年度には成果を得られるよう取組みを進められたい。
・職場体験・インターンシップの実施。	3	図書館 〈御殿山〉 ・職場体験 適応指導教室ルポ 11/28、29実施。 2年生 5名 〈菅原〉 ・中学生の職場体験受入。 長尾中学校 11/12～11/13（4名） 杉中学校 1/30～1/31（4名）	3	両施設とも職場体験を受け入れており、図書館利用の少ない中学生を受け入れ、図書館の仕事への理解を深める機会となった点が評価できる。配架やおはなし会、POP作成など、両施設とも工夫を凝らし、また、生徒への細やかな配慮を通じ、丁寧な対応をしたことも評価できる。
・4館合同ビブリオバトルの開催（開催館：菅原図書館）（7月）。	3	図書館 《共通》 ・「ビブリオバトル」楠葉・津田・御殿山・菅原 4館合同企画 7/7 （参加者 バトラー 3名、定員5名/観戦者 15名、定員20名）	3	事業の実施が確認できたため、本市要求事項水準を満たし、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。しかし、前年度に引き続き定員に達しなかったもので、実施に向けた準備に改善するべきところはないか十分に検討し、次年度以降にも実施されたい。
・ICTプログラミング体験として、プログラミングの図書を活用した「プログラミング教室」を開催し、AIアシスタント機能を持った移動可能なパーソナルロボットの操作体験の実施。	3	図書館 〈御殿山〉 ・「AIロボット temiプログラミング教室」8/18（参加者 午前の部3名 午後の部5名、参加者8名、定員10名、当日欠席2名）	3	プログラミング教室の実施を確認したことから、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。プログラミング教室は定員は少ないものの、ニーズとマッチした事業と考えられるため、開催頻度の見直しも検討されたい。
・市内の大学×生涯学習市民センター×図書館の連携事業として、摂南大学薬学部附属薬用植物園との連携により、生涯学習市民センターで展開される「まちなか植物園」事業に参画し、関連図書のブックリストの作成、関連図書の紹介コーナーを常設。 ・大阪工業大学との連携により、生涯学習市民センターで開催されるプログラミングやVR等の体験教室に参画し、ブックリストの作成やパーソナルロボットの活用。 ・大阪歯科大学との連携により、生涯学習市民センターで開催される歯や口腔に関する健康セミナーに参画し、ブックリストの作成やセミナー内での本の紹介、テーマ展示を実施。	3	図書館 〈御殿山〉 ・国立がん研究センターがん対策研究所と連携して、がんに関連して特集展示を実施。 〈菅原〉 ・生涯学習市民センターで展開されている「まちなか植物園」に連携し、季節ごとに内容を変えて関連図書を常設展示。	3	「まちなか植物園」の取組みが確認できた。「まちなか植物園」は、センター・図書館施設の特色のひとつであり、展示はもとよりブックリストの作成に努めるなど、引き続き精力的に取り組まれたい。また、展示図書・ブックリストともに適宜更新を図り、鮮度を保つよう心掛けられたい。ただし、市内の大学との連携事業という点では更なる取組みの拡大を期待する。

・市内小中学校に導入されているタブレット端末へ図書館案内を一括配信	3	図書館 〈御殿山〉 ・学校訪問おはなし会時に依頼して実施。 磯島小学校 11/21 殿山第一小学校 3/13 〈菅原〉 ・菅原・田口山小学校に、図書館見学の打合せの際に依頼して実施。	3	タブレット端末への図書館案内の一括配信が行われているため、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。一括配信は学校訪問おはなし会にあわせて依頼したもので、効果的なタイミングでの実施と評価できる。継続した取組みに期待する。
・子どもの福袋の実施（御殿山：1月、菅原：4・1月）	3	図書館 〈御殿山〉 ・子どもの本の福袋。実施。(1/4～11) 47袋を用意して、94冊すべて貸出される。参加者47名。 〈菅原〉 ・子どもの春のお楽しみ袋（福袋） くじ袋：4/23～5/12（80袋80冊）（参加者 80名 先着80名） 赤ちゃん絵本袋：4/23～5/12（20袋60冊） 参加者 20名 先着20名） ・子どもの本の福袋：1/4～1/10（48袋144冊）（参加者 48名 先着48名） ・中高生の福袋：1/4～1/11（10袋10冊）（参加者 10名 先着10名）	3	福袋は思いがけない本や知識との出会いにつながるきっかけのひとつであり、用意したセットのすべてが貸出につながったことから、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。対象を細分化したセットづくりも含め、効果的に取り組まれたことも評価できる。
・児童生徒の読書習慣の定着に向けた取組みとして、電子版スタンプラリーを実施。（通年）	3	図書館 《共通》 ・「枚方読書ツアー2024」 〈御殿山〉 ・年間参加者244名 〈菅原〉 ・年間参加者243名	3	電子版スタンプラリーの実施を確認したことから、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。好評のスタンプラリーと比べると参加者数は少ないため、参加者の増加につながる仕掛けを検討されたい。
・秋の読書週間の取り組み（10月）	3	図書館 《共通》 〈御殿山〉 ・大人の本の福袋：実施。 10/27～11/10（参加者105名） ・秋のスタンプラリー 「秋のとしょかんスタンプラリー2024」10/26～11/10（参加者300名） 〈菅原〉 ・大人の本の福袋 10/26～11/10（62袋62冊）（参加者62名 先着62名） ・秋のスタンプラリー 「秋のとしょかんスタンプラリー2024」10/26～11/10（参加者 400名 先着400名）	3	読書週間にあわせ、人気の企画「福袋」「スタンプラリー」を実施し、いずれも効果的な取組みとなったことを確認したことから、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。
一般成人を対象とした図書館読書推進事業が提案されている（確認事項30）				
・「まちなかサロン」としての図書館として「大人の福袋」「大人のワークショップ」「よるとしよ」「ブックリストバスファインダーの作成」「外部講師による講演会の実施」「図書館の使い方講座」といった一般成人向けのイベントやワークショップの積極的な実施。	3	図書館 《共通》 ※別紙参照。 〈御殿山〉 ・美術センターと連携し「たかしんいち絵本原画展」を開催。4/2～4/29（来場者3,097名） ・大人の絵本セラピー 4/20（参加者20名 定員16名）、5/18（参加者20名 定員16名）、6/29（参加者21名、8/24（参加者16名 定員16名）、10/19（参加者19名 定員16名）、1/25（参加者15名 定員16名）、2/15（参加者12名 定員16名）、3/22（参加者14名 定員16名）開催済。 絵本講師、絵本専門士による絵本講座を開催中。 ・絵本講師の「絵本を楽しむ集い」7/21（参加者 11名 定員12名） ・絵本講師の「絵本を楽しむ集い」9/22（参加者 9名 定員12名） ・絵本専門士によるクリスマス絵本講座 12/22（参加者19名 定員12名） ・心理カウンセラーによる大人の心理学講座 7/20、7/27、8/10、9/14、9/28、10/5 6回開催。（参加者72名 定員72名） ・電子図書館・図書館活用講座 9/21 説明冊子を作成し、配布した。（参加者3名 定員6名）	3	大人向けの取組として、様々な事業が実施されたことを確認したことから、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。次年度も新規登録者の増加につながる要素も加味するなど、継続した事業展開に期待する。

		・セラピストによるセルフケア 「セルフケアで体質改善 若さと美と健康を保つ方法」講演会 美術センター2Fホールで開催。10/26（参加者37名 定員40名） ・大人の本の福袋 10/27～11/10 （参加者105名 定員105名） ・大人のワークショップ「レジンでキーホルダーを作ろう」 11/16（参加者6名 定員6名） ・大人のスタンブリング2024 12/1～1/31（参加者200名 定員200名） ・「よるとしよ はじめての大人レジン レジンでオリジナルのチャームを作ろう」 3/29（参加者5名 定員6名） 〈菅原〉 ・「月曜日も図書館へ行こう！」：なにつくろう （一般向けクラフトワークショップ） 第二月曜日 （年間12回 参加者149名 定員各回15名） ・「月曜日も図書館へ行こう！」：体を動かそう （簡単な体操） 第三月曜日 （年間12回 参加者68名 定員各回8名） ・「月曜日も図書館へ行こう！」：私の好きな本 （参加しやすい読書会） 第五月曜日 （原則） （年間5回 参加者16名 プリ参加） ・朗読連続講座 4/12 4/26 5/10 5/24 （4回開催 参加者 29名 定員各回10名） ・服部美法さん講演会 福を招く「おふくさん」6/16（参加者 31名 定員25名） ・よるとしよコーヒー「 珈琲入門講座」豊かな香りとともに 6/29（参加者 10名 定員 10名） ・大人の夏のお楽しみ袋：本のきもだめし（福袋）8/1～8/21（25袋 25冊貸出）（参加者25名 先着25名） ・よるとしよコーヒー「 珈琲入門講座」豊かな香りとともに 11/30（参加者 10名 定員 10名） ・「電子図書館のやさしい使い方説明会」 1/18 （参加者 1名 定員 6名） ・「よるとしよ 大人のための星空教室」 3/15 （参加者 10名 定員 10名） ・「社寺建築の見かた基礎講座：神社編」3/22（参加者 6名 ） 3/23（参加者 6名）（ 定員 30名）	
・市民や地元商店街、地域ボランティア団体と連携し、『地元の匠によるワークショップ』や講座・催事の多数開催や市民が選ぶおすすめ図書コーナーの設置。	3	図書館 〈御殿山〉 ・楠葉のサロンド・ノール代表「セルフケアで体質改善 若さと美と健康を保つ方法」講演会 10/26 美術センター2Fホールで開催。（参加者37名 定員40名） 〈菅原〉 ・枚方にお住いの朗読の専門家による「朗読連続講座」 4/12（参加者7名 定員 8名） 4/26（参加者8名 定員 8名） 5/10（参加者7名 定員 8名） 5/24（参加者7名 定員 8名） ・地元で珈琲の自家焙煎店を営まれる専門家による、よるとしよコーヒー「 珈琲入門講座」 6/29 （参加者 10名 定員10名 ）・11/30（参加者 10名 定員10名 ）	3 趣旨に沿った事業の実施を確認したことから、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。ただし、地域との連携という点では、より多様な事業展開が期待できるもので、積極的な連携に努められたい。

	・図書館活用講座の開催（随時）	3	図書館 〈御殿山〉 ・「電子図書館の使い方」、「図書館活用講座」開催。電子図書館の使い方では、説明書「やさしい電子図書館の使い方」、図書館活用講座では、わかりやすい検索の方法を記載した「図書館マスターになろう」の説明冊子を作成し、配布した。9/21（参加者3名 定員5名） 〈菅原〉 ・「電子図書館やさしい使い方説明会」実施。1/18（参加者1名 定員6名） 「やさしい電子図書館の使い方」説明書を作成し配付した。	3	図書館活用講座はセルフフレレンス力の向上にもつながるもので、趣旨に沿った取組みの実施であることを確認した。本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。電子図書館の使い方講座については、確認事項31の二次評価の欄にも記載しているとおり、カウンターで随時実施するなど、柔軟な対応にも期待する。今後は、電子図書館の使い方に限らず、セルフフレレンス力の向上という趣旨を踏まえ、テーマを工夫して実施されたい。
	・御殿山フェスタの開催（6月）	3	図書館 〈御殿山〉 ・「御殿山フェスタ」みんなで絵本を楽しむ会 6/8～6/9 ほんのへや 6/8（参加者67名 プリー参加） おはなしワールド 6/9（参加者 55名 プリー参加）	3	御殿山フェスタでの取組みを確認したことから、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。図書館未登録者の参加者も見込める事業なので、次年度には新規登録者の増加につながる取組みとなるよう期待する。
	・リサイクルブック市の開催（御殿山：3月、菅原4・10月）	3	図書館 〈御殿山〉 ・リサイクルブック市 7/27～7/28 7/27（参加者90名 651冊）7/28（参加者21名 113冊） 〈菅原〉 ・本と雑誌のリサイクル市 4/20（参加者 54名 250冊）4/21（参加者 25名 108冊） 10/26（参加者 70名 395冊）3/29（参加者 74名 371冊） 3/30（参加者 37名 261冊） ・本と雑誌のリサイクル市 すがわらサークル発表会と連携 10/27（参加者 52名 234冊）	3	リサイクルブック市の実施を確認したことから、本市要求事項水準を満たし、年度事業計画どおりに運営されているものと判断できる。今後は、単なる開催に留まらず実施に伴って新規利用者の獲得となるよう努められたい。また、その実績（新規登録者数）についても表記できるよう工夫されたい。
ウィズコロナの観点から、電子図書館の利用を増やすための取組みが提案されている（確認事項31）					
	ホームページやSNSから利用者登録の促進を行うとともに、貸出用タブレットを活用した電子図書館の使い方講座の実施や動画サイトを利用し電子図書館のHowTo動画を作成。	3	図書館 《共通》 ・「ホームページ・SNSからの利用促進」 〈御殿山〉 ・「電子図書館の使い方・図書館の活用講座」9/21 開催済。 説明冊子を作成し、配布した。（参加者3名 定員5名） 〈菅原〉 ・「電子図書館やさしい使い方説明会」実施。1/18（参加者1名 定員6名）	3	電子図書館の利用促進に向けた取組みが確認できたことから、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおり運営されているものと判断できる。電子図書館のHowTo動画については、館内貸出用のiPadで閲覧できる状態であることを確認した。また貸出用タブレットを活用した電子図書館の使い方講座については、講座以外でもカウンター等で随時活用するなどして、電子図書館の利用促進に努められたい。
	電子図書館の使い方講座の開催（随時）。	3	図書館 〈御殿山〉 ・「電子図書館の使い方・図書館の活用講座」を9/21開催済。説明冊子を作成し、配布した。（参加者3名 定員5名） 〈菅原〉 ・「電子図書館やさしい使い方説明会」実施。1/18（参加者1名 定員6名）	3	講座の開催を確認したため、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおり運営されているものと判断できる。電子図書館は小学生世代の利用が多いため、講座以外にもカウンターでの電子図書館案内など、柔軟な対応にも期待したい。
	電子図書館の案内（通年）。	3	図書館 《共通》 ・Xの休館日告知に電子図書館への案内およびリンク掲載。	3	休館日告知にあわせた電子図書館の案内について確認したことから、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおり運営されているものと判断できる。次年度以降も継続して実施されたい。
	・小中学生の英語学習支援として、小中学生を対象にひらかた電子図書館の「英語多読をはじめよう！」などのコンテンツの提案。	3	図書館 〈御殿山〉 ・英語多読図書のコナーにひらかた電子図書館の英語多読特集のQRコードを掲示。 ・多言語おはなし会 11/24 にて、上記特集を案内。 〈菅原〉 ・児童の「子ども向け英語のお話」の欄に英語多読特集のQRコードを掲示。	3	電子図書館の英語多読特集などを確認したことから、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおり運営されているものと判断できる。引き続き英語学習支援の取組みに期待したい。
	・休館中の電子図書館の案内。	3	図書館 《共通》 ・Xの休館日告知に電子図書館への案内およびリンク掲載。 ・ホームページの図書館休館日のおしらせと併せて電子図書館のリンク掲載。	3	電子図書館は曜日・時間を問わずに利用できることから、施設の休館日告知にあわせた電子図書館の案内は効果的であり、本市要求事項水準を満たしており、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。
	・生涯学習市民センターロビーへの案内掲示や、QRコード付きデザインしおりの配布、生涯学習市民センター事業参加者へ電子図書館案内チラシを配布するなど、施設として一体的な登録促進の取り組み。	3	図書館 《共通》 ・センターロビーに電子図書館案内のポスター掲示。 ・センター事業に関連した電子図書館特集を実施。（御殿山9月実施・菅原7月実施）	3	センターロビーへの案内掲示などを確認したことから、本市要求事項水準を満たし、事業計画どおり運営されているものと判断できる。掲示物については状態確認を適宜行われたい。センター事業に関連した電子図書館特集については、積極的にPRを行い、電子図書館の利用促進につなげられたい。
(カ) 利用者対応提案					
利用者に対する接遇対応向上について提案されている（確認事項32）					
	・利用者目線に立ったホスピタリティある接遇。	3	生涯学習市民センター・図書館 《共通》 ・利用者ニーズ把握のための「ご意見箱」を継続設置。ご意見をもとに対応や対策を速やかに実施している。回答は随時ホームページ、館内掲示で行っている。 〈御殿山〉 ・2024年度「ご意見箱」投書なし。 〈菅原〉 ・2025年度「ご意見箱」投書16件。投書についての回答は館内掲示や、備品購入などに反映。（通年） ・利用者懇談会で出た、ご意見を反映。（1月） 生涯学習市民センター 《共通》 ・企業理念意見交換会を毎年実施し、利用者目線での接遇について理解を深めている。 ・枚方まなびつながりプロジェクト4 施設共通のコミュニケーションボードを設置。 〈菅原〉 ・業務リーダーが手話技能検定4級を取得。諸室を利用される聴覚障がい者とのコミュニケーション、信頼感の向上に役立てている。手話技能検定取得者がスタッフに窓口での挨拶や簡単なやり取りの手話を指導している。	3	「ご意見箱」の設置、接遇研修実施等、利用者目線に立ったホスピタリティある接遇が実施されているため、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。 利用者からの意見については、対応可能なものには必要な対応を行うなど、施設と利用者間の信頼関係向上につながる取り組みを今後も行っていきたい。 菅原では、手話技能検定を取得した職員以外の職員の手話等の講習や、他のコミュニケーションスキル向上に努めていただきたい。 投書数が少ないため、利用者のご意見をさらに収集できるよう工夫し、サービスの改善に役立てられたい。
	・正確でスピーディーな対応。	3	生涯学習市民センター・図書館 《共通》 センターと図書館が日常的に情報共有体制を構築し、基本情報や各種イベント情報などの問合せには、可能な限り迅速にフストップでお答えする体制を整えている。 ・毎週日曜日、センター図書館では合同朝礼を実施し、各種イベント情報や運営トピックスの共有を行い利用者からの問い合わせ対応を行っている。	3	可能な限りのフストップ対応を取る体制を整えていることから、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。

	・CS研修やユニバーサルマナー研修、ケーススタディ別のロールプレイング研修といった接遇研修の実施。また、年2回以上の図書館と生涯学習市民センターの合同接遇研修の実施。	3	生涯学習市民センター・図書館 《共通》 「第一回合同接遇研修」実施 5/27 「第二回合同接遇研修」実施 11/25 CS研修やユニバーサルマナー研修、ケーススタディ別のロールプレイング研修といった接遇研修の実施。	3	年2回の研修の実施しているため、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・接遇マニュアル等の整備	3	生涯学習市民センター・図書館 《共通》 ・接遇マニュアルを整備済。	3	接遇マニュアル等の整備を確認していることから、本市要求事項水準を満たしているものと判断できる。今後も、必要に応じ修正を行うなど、更新に努められたい。
	・各種コミュニケーションボードを備え付ける他、筆談ボードの設置や耳マーク表示、車椅子の貸出、ミライIDの活用など、だれもが快適な空間づくり。	3	生涯学習市民センター 《共通》 ・筆談用ホワイトボード、車いすの貸出及び、耳マーク、ミライID使用可掲示を継続中。 ・聴覚障がいがあるお客さまでもスムーズに申し込み受付出来るよう 新たに 4館共通のコミュニケーションボードを設置。スタッフの手話スキル向上とあわせてユニバーサルサービスの推進に取り組んでいる。 ・障がい者への合理的配慮の理解促進を図るため手話研修を実施（11/25） 〈御殿山〉 ・障害者就労支援移行事業所との協力連携、各種研修を通じてスタッフの障がいに対する正しい理解を深める取り組みを推進。 ・障がい者採用を機に、障がいがあるスタッフも窓口対応がしやすい環境の整備も行っている。 〈菅原〉 ・会社が推奨する業務関連資格取得の一貫として業務リーダーが手話検定4級を取得。 手話サークルなど聴覚障害者とスタッフのコミュニケーション円滑化を促進。窓口での手続きやお困りごとに対してのスムーズにサポートできる体制を整えている。 図書館 《共通》 ・筆談用ホワイトボード、車いすの貸出、および耳マークの掲示を継続中。	3	障害者対応・障害者雇用に努めているため、本市要求事項水準を満たしているものと判断できる。障害者の利用に支障のない環境整備に努められたい。
	・満足度の定量化目標の設定と、達成に向けた取り組み	3	生涯学習市民センター 《共通》 ・利用者満足度調査アンケート実施。 〈御殿山〉 (9/1～9/30) ・回収213枚 「良い、とても良い」 94.4%（目標値97%） 「とても良い」 17.7%（目標値35.0%） NPS値 -13.15 (3/1～3/31) ・回収198枚 「良い、とても良い」 93.6%（目標値97%） 「とても良い」 25.0%（目標値35.0%） NPS値 -13.82 〈菅原〉 (9/1～9/30) ・回収310枚 「良い、とても良い」91.6%（目標値97%） 「とても良い」25.0%（目標値35%） NPS値 -13.27 (3/1～3/31) ・回収361枚 「良い、とても良い」83.9%（目標値97%） 「とても良い」24%（目標値35%） NPS値 -14.32 ・事業参加者アンケートに加え、利用者アンケートでもNPSを採用。センターへの愛着度を測る指標とし数値化。従来の単純なスコアではなく、推奨者を増やしリピーターを得るよう数値目標を設定している。 図書館 《共通》 ・枚方まなびつながりプロジェクト4館が連携して利用者アンケートを実施。 6/25～6/30 ・利用者アンケート（市）を通年で実施。 集計結果についてはグラフ化して図書館業務の取り組みに反映した。 〈御殿山〉 ・回収22枚 「満足、やや満足」100%（目標値97%） 「満足」64.7%（目標値35%） 〈菅原〉 ・回収 463枚 7/15回収分まで反映 「満足、やや満足」 97.8%（目標値97%） 「満足」65.8%（目標値35%）	3	満足度の定量化目標の設定と、達成に向けた取り組みがなされ、概ね高い満足度となっているため、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。利用者満足度はいずれの施設も高いが、アンケート内容については十分に検討され、施設の運営に反映されるよう努められたい。御殿山図書館については回収数の増加につながる取組みに努められたい。
利用者が安全に利用できるよう施設内で発生するトラブルへの対応方法等について提案されている（確認事項33）					
	・「予防」と「備え」の観点からリスクの洗い出しと対策	3	生涯学習市民センター・図書館 《共通》 ・スタッフによる1日3回の定期巡回で、施設内外の安全確認、不審者・不審物の確認、清掃状態の確認を行っている。 ・お困りの利用者へのサポート、設備利用のアドバイスなど積極的な声掛けを行っている。 ・JV3社による施設運営会議を毎月開催。施設の不具合等の報告共有を行い必要な対策を講じることでトラブル等の未然防止に努めている。 ・JV共通の危機管理マニュアルを整備し緊急時対応に備えている 〈御殿山〉 ・廊下階段の案内サインのデザインを統一し、利用者にとって一目でわかりやすい表示に改善した。 ・年二回の合同消防訓練を実施。 〈御殿山〉 (2/28、3/24) 〈菅原〉 (6/24、1/27) 生涯学習市民センター 《共通》 ・利用後の部屋チェック時に施設備品の破損点検、整備を行っている。 ・2か月に1回スタッフ全員がHY（ヒヤリ・ハット）活動を実施している。 ・日常における定期巡回、普通救命講習の定期受講などに加え、危険予知（KY）教育を実施。館内の危険個所を早期に発見し事故の未然防止に務めている。	3	訓練、巡回などを実施し「予防」と「備え」の観点からリスクの洗い出しと対策が取られているため、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。 引き続き日常点検や利用者の意見などを参考に充実した修繕に取り組んでほしい。

		<菅原> ・業務リーダーが防災救助士の資格を保有している。 設備管理 ・月次定期点検を含め月2回程度月次巡回を実施（ファンリテイラーは月1回以上各施設を巡回）。専門的観点から事故等の未然防止に努めるとともに、各施設の運営者との意見交流を行いながら設備に関わるリスクの洗い出しを行っている。 ・関係法令や危険度、お客様の利用頻度などを考慮しお客様目線も含めた修繕計画を行う事で設備トラブルを未然に防いでいる。 ・公共施設への爆発物設置予告等があった場合も清掃責任者から清掃員へスピーディーに情報共有を行い、安心安全の施設運営に貢献している。		
・定期巡回による事故やトラブルの未然予防、早期発見、早期対応の徹底。	3	生涯学習市民センター・図書館 《共通》 ・毎日、3～4回の巡回を実施。 ・職員による定期・不定期の巡回を毎日実施。設備故障や事件等の早期発見、未全に防止する体制を継続中。 ・危機管理マニュアルおよび緊急連絡網を整備し、災害時の報告方法を事務室内に掲示。スタッフがいつでも確認対応できる体制を整えている。 〈御殿山〉 ・夜間の館外照度不足を補うため、階段スロープを中心にLED照明を設置。（上期） ・不審者情報を職員で共有し、問題拡大の未然防止のために必要に応じて声かけを実施。（通年） ・館内6か所および駐車場1か所の計7か所に防犯カメラを設置（下期） この取り組みにより、犯罪抑止やカスタマーハラスメント対策への活用も期待。 〈菅原〉 ・駐車車両の車番確認を毎日実施。事故等、トラブル発生時にはセンター、図書館共同で対応に当たった。 ・夏場のロビーの悪臭対策に消臭剤を設置。閉館後にベンチ等の消臭・拭き上げを実施。 ・館内巡回の際に見慣れない言動をされる利用者には積極的に声がけし案内に努めるとともに、トラブル予防に役立てた。 ・ロビーにごみ持ち帰りの貼り紙を設置するとともに、自販機ごみ箱の位置を事務所から見える位置に変更。目的外のごみ廃棄を予防した。 設備管理 ・月次定期点検を含め月2回程度月次巡回を実施（ファンリテイラーは月1回以上各施設を巡回）。専門的観点から事故等の未然防止に努めながら不具合連絡時は早急に現場確認を行っている。また清掃員や警備員により日々の業務中に発見した不具合等については適宜市民センターへ口頭や警備報告などで報告し早期対応に繋げていると共に情報共有に努めている。 ・菅原センターおよび図書館において発生している雨漏りについては利用者への影響を最小限に留めるべく複数回に渡り調査、サッシ周りの防水簡易修繕、応急処置を実施。今後も調査を継続し大規模改修も視野に市と調整中。	3	日々の複数回の巡回や危機管理マニュアルの整備などがされており、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。引き続き事故・トラブルの未然予防に努められたい。 施設の整備に関しては、JVであるKBTの専門的知見を活かした修繕への取り組み（雨漏り等の対策、予防、早期の修繕や、周期など原因の特定が難しいものへの対応等）を今後も行っていきたい。
・危険予知（KY）教育として、毎月の施設の危険個所に対する感度を高める取り組みを実施。	3	生涯学習市民センター・図書館 《共通》 職場安全衛生の取り組みとしてセンター・図書館合同で毎月、KY教育を実施。単館完結ではなく各館のKYを8館でチェックすることにより多角的な視点で未然に事故を防ぐ。 設備管理 毎月の休館日等作業の際は、毎日のKY日誌にてKYを実施。 企業としてもK Yや建物の危険な状態を事前に認識し改修等行う事故の芽報告を随時実施しており、毎月の企業内レポートを従業員に共有し意識を高めている。	3	毎月のKY教育の実施をはじめ、危険予知についての取り組みを行っていることから、本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
利用者等の安全・秩序維持のための適切な対応方法について提案されている（確認事項34）				
・「緊急対応マニュアル」「苦情対応マニュアル」といった対応マニュアル・報告フローの整備	3	生涯学習市民センター・図書館・設備管理 《共通》 ・JV共通の危機管理マニュアルにおいて緊急時の対応、報告フローの整備をおこなっている。苦情対応についても同マニュアル内に整備している。	3	マニュアル・報告フローの整備がなされていることから、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。マニュアルは必要に応じて適宜更新されたい。
・これまで発生した事案における経験の蓄積と連絡・共有体制を構築し、警察や消防をはじめ、地域団体との連携を実施。	3	生涯学習市民センター・図書館 〈御殿山〉 ・管轄の交番と情報共有体制をとり、必要に応じて巡回強化を依頼している。 〈菅原〉 ・過去にSNSトラブルのあったイベント利用について、学習課、警察と緊密に連携しトラブルのない利用に努めた。（7月） 設備管理 期間中発生した事案などは報告書を作成しセンターへ提出、保存共有する事により再発防止に努めている。	3	発生した事案の共有化を図るなど、再発防止への取り組みをしていることから、本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・毎日の朝礼夕礼や毎月開催のミーティングで詳細な内容を共有し、再発防止の徹底	3	生涯学習市民センター・図書館 〈御殿山〉 ・近隣住民からのご意見（路上駐車、アイドリング、植栽の敷地境界はみ出し等）と対策（巡回強化、啓発ポスターの掲出等）をミーティング等で共有し再発防止の徹底を行っている。 〈菅原〉 ・閉館時の不審者対策のため、夏季の警備巡回のうち1回を閉館直後に変更。また、トラブル発生時にはセンター、図書館共同で対応に当たった。（7～8月） 設備管理 委託先も含めて経緯、再発防止策を打合せ、従業員に周知徹底を図り、また、センター、図書館に共有した上で打合せ内容は書面にて保管している。	3	日々の必要な情報をミーティングで共有し、再発防止の徹底を図っていることから、本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・施設賠償責任保険への加入。	3	生涯学習市民センター 《共通》 ・施設賠償保険等に加入している。	3	施設賠償責任保険への加入をしているおり、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
利用者サービス向上の観点からセルフモニタリングの計画を提案するとともに、利用者に対するアンケートの実施について提案されている（確認事項35）				
・日々の利用者からの要望を蓄積・共有する日常での取り組み	3	生涯学習市民センター・図書館 《共通》 ・ホームページと館内にご意見箱を設置し、頂いたご意見に対して必要な改善を行っている。 ・回答については枚方市へ報告のうえ必要に応じて公開している。	3	利用者の方から頂いたご意見へは必要な改善を行っていることから、本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・セルフモニタリングの実施、その結果をPDCAサイクルに組み込みサービス向上に繋げる。	3	生涯学習市民センター・図書館 《共通》 各種議会議体の設置とあわせて提案書に基づいた業務確認一覧の作成を行い、多方面からのモニタリングを実施。継続的な業務改善、サービス向上に努めている。 ・施設運営委員会（毎月） ・グループ運営委員会（四半期ごと） ・JV運営委員会（半年ごと） ・本社部門による監査（年次） 図書館 《共通》 ・日々、スタッフそれぞれが気が付いたことを口頭で報告、また日誌・連絡ノートに記載。迅速に改善へとつなげ、毎月の休館日の館内会議で全員に共有している。	3	セルフモニタリングを実施し、業務改善及びサービス向上に努めていることから、本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

	・利用者アンケートの実施、集計・分析を通して、改善などの具体的な取り組みに繋げる。	3	生涯学習市民センター 《共通》 ・利用者満足度調査アンケート実施。 上期（9/1～9/30）、下期（3/1～3/31） ・NPSを採用した共通のアンケート集計フォームを用いてセンターへの愛着度を測る指標とし数値化。 従来の単純なスコアではない推奨者を増やすことにより内容の改善、リピーターの獲得に取り組んでいる。 〈御殿山〉 ・ご要望から、創作室3の机配置変更（10月）、駐車場白線引き直し（12月）、諸室（集会室1・2創作室2）クロス張替（11-12月）駐輪場床凹凸再舗装（3月）実施 〈菅原〉 ご要望を受けて、以下の改善を実施。 ・6週間前抽選の実施方法を変更。部屋ごとの抽選ではなく、申し込み受付順を決める抽選方法へ変更。 ・ラジカセなどの備品を追加購入。 図書館 《共通》 ・枚方まなびつなかりプロジェクト4館が連携して利用者アンケートを実施。 6/19～6/25 御殿山 22枚 菅原 463枚 集計結果についてはグラフ化して図書館業務の取り組みに反映した。 ・利用者アンケート（市）を通年で実施。 〈御殿山〉 アンケートによる要望を受けて、以下の改善を実施。 ・国立がん研究センターからがんに関する健康情報のパンフレット等入手して、雑誌架に配架した。 ・入口近くの特集コーナーが好評のためより充実を図り、ホームページから特集リストの印刷ができるようにリンクをした。 ・館内で貸出前の本を入れるメッシュバッグを設置。 〈菅原〉 アンケートによる要望を受けて、以下の改善を実施。 ・高齢者用紙芝居を新たに購入し集めて分かりやすく配架。 ・絵本の書架サインを大きく見やすいものに10/28に交換。加えて絵本の絵を描いた作家名のサインを適時追加中。	3	アンケート結果により、必要な改善を行っていることから、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
業務に従事する者が、人権について正しい認識を持って業務を遂行できるよう、人権研修について提案されている（確認事項36）					
	・研修計画の策定と各担当者や全スタッフを対象とした人権研修を重層的に実施。	3	生涯学習市民センター・図書館 《共通》 ・年度計画書に記載の研修に加えて本社が策定する研修計画に基づいて計画的に実施している。 生涯学習市民センター 《共通》 ・津田センター所長が本社「人権啓発推進委員」として各種研修や取り組みを推進している。 ・人権ニュースを毎月全スタッフで確認し自分事として考える環境を整えている。 ・全スタッフが社内人権標語コンテストに応募。（枚方G1件入選） ・「全社員向け人権研修（eラーニング）」実施。 10/15～12/31 図書館 《共通》 ・全スタッフ対象に7月の休館日に人権研修実施。 設備管理 企業にて行われている人権研修に参加、資料も回覧を図り再周知している。	3	適正に研修が実施されているため、本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
【施設の管理に関する事項】					
関係法令及び本市条例・規則を遵守し、施設の設置目的に沿った管理計画が提案されている（確認事項37）					
	・設置目的に沿った施設管理計画を提案している。	3	生涯学習市民センター・図書館 《共通》 ・年度事業計画書を基にセンター条例、図書館条例に掲げられている設置目的に沿った安全安心、法令順守を最優先とした施設管理を行っている。 ・提案書に基づいた業務確認一覧をもとに未実施項目を洗い出し、施設の運営計画に反映している。 設備管理 年間作業計画に基づいて各種保守点検を実施。	3	・設置目的に沿った施設管理行っていることから、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。計画外の事象についても、優先順位を定めるなどし、適切に対処されたい。
建築設備全般にかかる点検・保守を適切に実施し、機能保全・利用者への安全、快適な環境が提案がされている（確認事項38）					
	・モニタリングチームによる日々目視による点検を実施するとともに、長期的な修繕・点検の実施計画等を定めた長期修繕計画の策定。	3	設備管理 毎月実施している3社合同の施設会議にて修繕箇所の打ち合わせを行い、運用面、設備維持管理面等優先度を検討し修繕計画を実施。	3	3社合同による毎月の施設会議の開催などを基にした計画を策定していることから、本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
	・PDCAマネジメントシステムによる最適な維持管理。	3	生涯学習市民センター・図書館・設備管理 《共通》 ・各種モニタリング会議においてPDCAサイクルによる業務改善、水準維持に努めている。 設備管理 年間の作業予定を構築し業務を行いながら、発生した不具合等の原因などチェックして次の運営や維持管理向上に努めている。その他、仕様書に記載はないが、状況に応じてワックス剥離作業を行い利用者の満足度向上を図り、快適な環境づくりに繋げている。	3	PDCAによる業務改善をはじめ、仕様書に記載のないものについても対応していることから、本市要求事項水準を満たしていると判断できる。 両施設とも老朽化による突発的な不具合が発生している。そういった施設の特性を念頭に置いた日常管理及び不具合発生時の迅速な対応をお願いしたい。
	・予防保全として、京阪ビルテクノサービスが自主運営するASP（施設運営支援システム）を活用し、徹底したLCC（ライフサイクルコスト）削減を実行。	3	設備管理 蓄積された日々のデータや状態と機器寿命などを勘案し、適切な修繕順位の選定や改修要望を行っている。	3	適切な修繕順位の選定や改修要望の提出などがされているため、本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
	・図書館における財産保全の取り組み。	3	図書館 《共通》 ・時間を定めての館内巡回のほかフロアワークにより館内の秩序・書架環境の維持に努めている。 ・資料が返却された際に一冊ずつ確実な点検を心掛けている。 ・利用により傷んだ資料に関して修理可能な物は適時、修理し利用できる状態に戻している。	3	時間を定めての館内巡回やフロアワークによるチェックなどを行っており、館内の財産保全に向けた取組は本市要求事項水準を満たし、事業計画どおりに運営されているものと判断できる。また、返却資料は一冊ずつ状態の確認を行い、修理を加えて利用に供する状態にしている点も評価できる。
	・管理区分を明確に施設保管し、開錠記録をデータ化するといった適正な金銭管理。	3	生涯学習市民センター 《共通》 ・金銭取り扱いには2名でのダブルチェック体制及び金種毎に区分けしての施錠管理を実施している。 ・金銭は電子金庫にて保管し、暗証番号による開錠権限をサブリーダーまでに限定。 定期的金庫開錠記録の確認を行うことで不正のトライアングル（動機、機会、正当化）を無くす仕組み体制を整えている。 ・拠点での実査に加えて、毎月1回統括管理者が巡回し、実査を行う等、適切な運用体制を整えている。	3	金銭取り扱いの二重チェックをはじめ、金庫での金銭管理による安全管理の徹底などが実施されているため、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
基本仕様書の規定に従い、資格を必要とする業務に有資格者を配置するなど適正な人員配置が提案がされている（確認事項39）					
	・総括、副総括を筆頭に、各施設、リーダー・サブリーダー等は仕様書に定める実施業務体制を確保する。	3	生涯学習市民センター・図書館 《共通》 ・仕様に基づき、所長、リーダーに非限定社員を1名ずつ配置。生涯学習活動や地域活動の経験を有する者を中心にスタッフを適切に配置している。 ・欠員や大規模イベントの際などには本社からのバックアップにより、人員を配置するサポート体制を確立している。	3	業務体制の確保及び適切な配置を確認していることから、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。

・図書館スタッフの70%以上が司書資格を有する体制。	3	図書館 《共通》 ・司書資格率82%。	3	70%以上の有司書資格率が確保されているため、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
・各施設、日中は原則、責任者代行以上が2名以上、夜間は1名以上の勤務体制。図書館は全時間帯でカウンターに常時2名以上。	3	生涯学習市民センター-図書館 《共通》 ・各施設、日中は原則、責任者代行以上が2名以上、夜間は1名以上の勤務体制にて運営している。	3	適正な人員配置が行われていることから、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
生涯学習市民センターのロビーにおいて、基本仕様書の規定に従い、適正なWi-Fi環境の整備について明確に示されている（確認事項40）				
・セキュリティ方式「WPA2」以上の規格、アクセスログ等の重要情報の厳格な管理など、基本仕様書に定めるセキュリティ基準を満たす環境を整備。	3	生涯学習市民センター 《共通》 ・基本仕様書に定めるセキュリティ基準を満たす環境を整備している。 【ロビー設置Wi-Fi】 ・セキュリティ方式「WPA2」 ※指定管理者が設置したWi-Fi設備については新たに設置された枚方市Wi-Fiの安定運用が確認できるまで設置継続中。安定運用が確認出来次第、枚方市設置のものに移行する予定。	3	セキュリティ方式「WPA2」を導入していることから、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
施設内で生じた廃棄物の適正な一時保管、搬出、処理の提案がされている（確認事項41）				
・管理者を定めた上で、運用チェック体制を構築し、マニフェストの提出等、法令に基づき適切に対応。	3	生涯学習市民センター・図書館・設備管理 《共通》 所長・館長を管理者と定め、随時ゴミ保管庫の状況や設備管理の運用をチェックし、マニフェストの管理・保管を行っている。 生涯学習市民センター 《共通》 Daigasグループが開催する廃棄物の適正管理についての研修を廃棄物担当者が順次受講。	3	設備管理の運用チェック、マニフェストの管理が適切に行われていることから、本市要求事項水準を満たしているものと判断できる。 提案書に記載されている市民向け啓発活動についても、今後実施されたい。
備品管理に当たり、管理簿の整備及び責任所在について提案されている（確認事項42）				
・帰属先等を明確にした台帳を作成し、年1回の棚卸による実物との照合実査で確実に管理。	3	生涯学習市民センター 《共通》 ・帰属先を明確にした台帳を整備し、必要に応じて更新を行っている。 ・実物照合は年度ごとに枚方市立ち合いのもと行っている。 図書館 《共通》 ・備品管理簿をもとに適切に管理。 ・年1回蔵書点検を実施。	3	台帳の作成、棚卸の実施など適切に備品管理が行っていることから、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
環境に配慮した管理運営を目指し、ごみの削減、省エネルギー等具体的に提案されている（確認事項43）				
・不要照明の消灯等の省エネ推進や、環境負荷の低い薬剤を使用した清掃など、環境配慮の管理運営。	3	生涯学習市民センター 《共通》 ・環境に配慮した管理運営を行っている。 ・不要照明のこまめな消灯、LED化による省エネ推進。 ・クールビズ、ウォームビズの実施。 設備管理 日常清掃において環境負荷の低い製品使用を推進し廃棄物の発生減に努めている。	3	環境配慮の管理運営を行っていることから、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
・環境問題への意識向上のためのスタッフ研修の実施及び市民向け啓発事業。	3	生涯学習市民センター 《共通》 ・環境活動に関する従業員教育を全スタッフが受講。（9/10～9/30） （御殿山） ・ピーク電力抑制の一環として、利用開始20～30分前にエアコンを稼働させる運用を実施。特に夏場は、利用開始時に快適な室温が保たれ、利用者から好評を得ている。 ・カーテンによる遮光や不要照明・空調のこまめなオフを利用者にも呼びかけ、省エネに協働で取り組んでいる。 図書館 《共通》 ・児童コーナーにSDG sの案内を実施。	3	図書館において児童コーナーにSDG sの案内を実施しているほか、環境問題への意識向上のためのスタッフ研修を実施していることから、本市要求事項を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
・SDG s 推進登録制度の登録と推進。	3	生涯学習市民センター・図書館・設備管理 《共通》 ・枚方市SDGs認証制度へ登録を行い推進に努めている。	3	枚方市SDGs認証制度へ登録を行い推進に努めていることから、本市要求水準を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
業務に従事する者及び利用者の手指や備品の消毒、施設の換気等、感染症の拡大防止策が提案されている（確認事項44）				
・利用シーン別に利用者に対する感染予防対策として、消毒、換気、体温計等の設置や貸出等を実施。	3	生涯学習市民センター・図書館 《共通》 ・イベントの際など利用者の希望に応じて非接触温度検知機能を備えた消毒器の貸し出しを行っている。	3	利用者の希望に応じた機器の貸出を行っていることから、本市要求水準を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
・全スタッフの体調把握や感染防止備品等の整備。	3	生涯学習市民センター・図書館 《共通》 ・枚方市基準および社内基準に基づいた適切な感染対策を講じることで安全安心の施設運営を行っている。 ・館内に消毒液の設置継続・お手洗い等に非接触型蛇口・ハンドソープ設置継続。 ・感染リスク軽減のため、オンライン会議（Teams、zoom）導入し積極的に継続活用している。 ・感染時には出勤を停止し、責任者へ速やかに報告を行う運用徹底。	3	社内基準に基づいた感染対策やオンライン介護の推進などを行っていることから、本市要求水準を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
・京阪グループと連携して抗菌・抗ウイルス加工を施設内の主要な場所に施工。	3	生涯学習市民センター・図書館 《共通》 ・京阪グループとの連携によりエレベーター内に抗菌・抗ウイルス加工を施工。安心安全の施設環境整備に努めている。（2023年度下期実施済） ・管原は、EV更新時にメーカーにて抗菌加工を行っている。（2023年度下期実施済）	3	施設の環境整備を図っていることから、本市要求水準を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
【情報公開及び個人情報保護の措置に関する事項】				
枚方市情報公開条例の目的等を踏まえ、管理運営事業で保有する情報の公開に関する対応が明確に示されている（確認事項45）				
・請求受付から情報公開までの手順を定め、速やかに対応。	3	生涯学習市民センター 《共通》 ・枚方市条例、およびJV各社規定に基づいて対応する体制を構築しており、開示請求の申し出先等を明記したプライバシーポリシーをHP上で公開している。	3	条例やJV各社規定に基づいた体制の構築がされているため、本市要求事項水準を満たしているものと判断できる。
個人情報保護法の目的等を踏まえ、個人情報の保護に関する必要な措置について明確に示されている（確認事項46）				
・役割や権限に基づく組織的な社内体制の構築。	3	生涯学習市民センター・図書館 《共通》 ・社内の個人情報保護体制の下、情報管理担当者（所長、館長）、情報管理責任者（本社管理職）を配置している。	3	情報管理担当者や責任者の配置などがされていることから、本市要求水準を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
・関係法令等を反映した実務マニュアルを整備。	3	生涯学習市民センター・図書館 《共通》 ・個人情報取り扱いマニュアル、情報管理マニュアルを整備している。 生涯学習市民センター ・個人情報漏洩の原因で最も多いメールの誤送信対策として、誤送信防止のVBAを導入。	3	マニュアルの整備や、VBAを用いたメールの制御等を行っていることから、本市要求水準を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。 マニュアルについては、必要に応じて適宜更新し、共有されたい。
・個人情報保護に対する教育、研修体制の強化。	3	生涯学習市民センター 《共通》 ・隔月でHY（ヒヤリ/ハット事例をもとにしたケーススタディ）研修を実施。 ・全社員対象「個人情報を含む情報管理の見直しとその対策の振り返り活動」5/1～5/20 図書館 《共通》 ・個人情報とプライバシー保護研修 6/24、12/23	3	適正に研修が実施されているため、本市要求水準を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。 今後も、研修を実施した際には効果検証を行うなど、個人情報保護への理解を深められたい。

・すべての個人情報の取得から保管、廃棄／消去までをフローに定めた台帳の運用。	3	生涯学習市民センター・図書館 《共通》 ・Pマーク基準に基づいた個人情報管理台帳（毎年更新）を作成し、すべての個人情報の取得から	3	個人情報への対応が適切に行われていることから、本市要求水準を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
【緊急時における対策に関する事項】				
施設（監視器等）の状況を踏まえ、緊急時・防犯・防災対策の危機管理マニュアル作成等が提案されている（確認事項47）				
・施設管理運営実績を基に更新されている「緊急対応マニュアル」の最適化。	3	生涯学習市民センター・図書館 《共通》 共通の危機管理マニュアルを作成、必要に応じて随時情報更新を行っている。（2024年9月更新）	3	危機管理マニュアルの作成・更新を確認していることから、本市要求水準を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
・防災備品の整備や普通救命講習の受講など、日常から様々な取り組みを行い緊急時に備える。	3	生涯学習市民センター・図書館 《共通》 ・緊急時・非常時に対する備えとしてJV構成団体である設備管理主導で毎月1回、施設会議を実施し状況を把握。 ・夏季の空調不具合や豪雨による被害発生時にも迅速に設備修繕を実施することで利用者への安全安心を第一に対応。 ・事務所内に防災バッグ、非常食、非常トイレをはじめとした防災グッズや経口補水液、熱中飢などの熱中症対策備品を常備し定期的な点検を実施。 ・非常食の賞味期限が残り半年となっていたため、2033年1月期限のものに全て入れ替えを実施。 ・新規採用スタッフなど未受講者を対象にセンター図書館合同でAEDの取り扱いを含む普通救命講習会を実施(1/27)	3	防災備品の整備や月1回の会議で緊急時・非常時に対する備えを確認し、期限が近いものは入れ替えるなど日常から緊急時に備えた取り組みをおこなっているため、本市要求水準を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
緊急事態発生時又は発生が予測される場合における常時連絡可能な体制・方策が提案されている（確認事項48）				
・自衛消防組織を編成し、役割分担体制を明確化。	3	生涯学習市民センター・図書館 《共通》 ・同敷地内の支所等、各施設を含めた消防組織を編成。消防計画に明記している。	3	消防組織を編成していることから、本市要求水準を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
・大規模災害時における市および関係機関と施設および本社災害対策本部との連携体制。	3	生涯学習市民センター・図書館・設備管理 《共通》 ・非常時の体制は各社整備している。 ・枚方市とJV間で責任者の連絡先を共有。 生涯学習市民センター 《共通》 ・大規模災害発生時を想定してDaigasグループの安否確認訓練を9/11実施。 設備管理 緊急連絡体制を構築し、24Hの機械警備センターを介して適宜関係部署に連絡が入り対応を行っている。	3	災害時の連携体制を構築していることから、本市要求水準を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
構成員間（本支社間含む）、市との間におけるリスク分担に対する考え方が明確に示され、かつ考え方に対応した分担内容となっている（確認事項49）				
・構成員間での協定に基づく明確なリスク分担。	3	生涯学習市民センター・図書館・設備管理 《共通》 ・共同事業体運営会議で意見交換し細則協定を結び、リスク分担を明確化している。 ・不測の事態に備えてJV運営会議および施設運営会議を都度実施し協働事業体として運営品質の向上に努めている。	3	リスク分担を明確化し、不測の事態への対応をしていることから、本市要求水準を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
【その他】				
高齢者・障害者サービスを維持・向上させる取組みについて提案されている（確認事項50）				
・機器、端末操作等への丁寧な説明や利用者との日常コミュニケーションを充実させること、アクセシビリティに配慮した案内を作成するなど、「人が介する価値」を改めて大切にしたい取り組みの実践。	3	生涯学習市民センター 《共通》 ・日常より利用者と密なコミュニケーションを行い、アンケートで高評価をいただいている。 状況別に合わせた「予約システムの使い方」マニュアルを設置。 ・老眼鏡や拡大鏡、筆談ボード等を備え付けている。 図書館 《共通》 ・OPAC、図書消毒器には案内を分かりやすく掲示すると共に、困っておられる利用者に対しては積極的に声をかけ、スタッフが丁寧に説明。 ・スマート貸出登録・インターネット予約サービスについても利用者の携帯を操作しながら、あるいは電話では同じ画面を図書館でも表示して、相手の理解を待ちながら説明。	3	利用者の立場に沿った対応がされていることから、本市要求水準を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
・障がいのあるスタッフによる、当事者視点からの設備環境やサービス内容の改善の取り組み。	3	生涯学習市民センター 《共通》 ・コミュニケーションボードの設置やロッカーの荷物出し入れのお手伝いを実施。 〈御殿山〉 ・障がいのあるスタッフからの意見を取り入れ修繕優先順位を見直し、車いすスロープのタイル割れ補修、LED照明設置を実施。（上期） ・諸室、執務スペースの什器・備品や配線等の不要物を撤去し、バリアフリー化と通路の拡大を実施。（下期） 図書館 《共通》 ・障がいのあるスタッフをバリアフリーサービス担当とし、自らの経験をふまえたサービスのあり方を全員に共有。	3	障害のあるスタッフによるサービスの在り方を全員で共有するなどサービス改善の取り組みがされていることから、本市要求水準を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
施設の利用促進に繋がる広報活動等について具体的な実施計画が提案されている（確認事項51）				
・施設利用者に向けた広報として、定期広報誌や館内掲示スペース、デジタルサイネージの活用。	3	生涯学習市民センター 《共通》 ・毎月センターだよりを発行し、事業のチラシ等を館内に配架している。入口にデジタルサイネージを設置し、イベント案内に活用している。	3	毎月センターだよりを発行し、事業のチラシの配架や、デジタルサイネージを設置するなどの広報がされていることから、本市要求水準を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。

・施設未利用者に向けた広報として、京阪電鉄、JR西日本と連携。協力体制による沿線情報への広告掲載ポスター掲出等。	3	生涯学習市民センター 〈御殿山〉 ・御殿山駅に美術センター専用ポスター枠を通年で設置し各種事業広報に活用。 ・一部大型イベント時は、樟葉駅、枚方市駅にもポスタースポット掲出。 〈菅原〉 ・毎月「すがわらだより」を長尾駅に設置。 図書館 《共通》 ・センターだより、イベントお知らせ館内掲示スペース、日々の新刊・自習ルーム利用状況等を表示するデジタルサイネージを活用して、広報に努めている。 〈御殿山〉 ・「京阪電車きからおでかけまっふ」に御殿山図書館を掲載済。 〈菅原〉 ・長尾台郵便局のラック広告を利用した「すがわらだより」の配布実施。	3	ポスター等の掲示を確認していることから、本市要求水準を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
・枚方の魅力を市民目線が発信する人気サイト「ひらいる」への記事掲載。	3	生涯学習市民センター 〈御殿山〉 ・たかだしんいち「絵本原画展」4/2～29 ・AIコミュニケーションロボットTemiを用いた「ICTプログラミング教室」8/18 ・吉水快聞展「～夢うつつ～」3/17～3/30 〈菅原〉 ・24年度センター公式SNSを中心にしていたため掲載なし。来年度掲載にむけて調整。 図書館 〈御殿山〉 ・7月絵本で心を感じる講座、7月心理カウンセラーによる大人の心理学講座を掲載済。 ・9月楽しい絵本講座、10月セラピストによるセルフケアを掲載済。 ・1月北堀江音読教室による読み聞かせを掲載済。 ・2月北堀江音読教室による読み聞かせを掲載済。 ・3月北堀江音読教室による読み聞かせを掲載済。 〈菅原〉 ・10月よるとしよこーヒー「珈琲入門講座」の受講者募集記事の掲載済み。	3	「ひらいる」への記事掲載を確認していることから、本市要求水準を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
・「誰でも」「いつでも」必要な方へ情報をお届けできるWEB媒体を活用した広報活動。	3	生涯学習市民センター 《共通》 ・ホームページ・Facebook（御殿山）・YouTube（御殿山）・X（御殿山・菅原）で実施中。	3	HP、SNS等を活用した発信を確認していることから本市要求水準を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
・生涯学習市民センターと図書館のWEBサイトのTOPページを統合。	3	生涯学習市民センター・図書館 《共通》 センター・図書館のホームページトップページを統合（2/27公開） 生涯学習市民センター 《共通》 ホームページをリニューアル。スマートフォンでの閲覧にも対応。必要な情報がタイムリーに閲覧可能な環境整備を行った。（2/27公開）	3	センターのホームページトップページの統合を確認していることから、本市要求水準を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
・各SNSの特性を理解した情報発信。	3	生涯学習市民センター 《共通》 ・生涯学習情報提供のためInstagram「まなびのタネ」を公開。枚方まなびつながりプロジェクト4施設共通のSNSアカウントを立ち上げ、写真や動画などのコンテンツ配信を行うことで施設利用の少ない子育て、現役世代へのアプローチを図っている。 ・各施設個別でも地域性や来館者特性を踏まえたSNSを採用し、情報発信に努めている。御殿山センターでは展覧会専用のFacebookも活用。 生涯学習市民センター 〈御殿山〉 ・X、YouTube、Facebook（展覧会専用） 〈菅原〉 ・X 図書館 《共通》 ・Facebook・X・Instagramで実施中。	3	両施設とも、様々な種類のSNSでの発信を確認していることから、本市要求水準を満たしており、事業計画どおりに運営していると判断できる。

指定管理者による一次評価 平均点	3.0	所管部署による二次評価 平均点	3.0
---------------------	-----	-----------------	-----

評価項目 1 (1) の評価基準		
S	事業計画における提案以上に、良好な管理運営を行っている	二次評価の平均点が 4 点以上
A	事業計画に則した適切な管理運営を行っている	二次評価の平均点が 3 点以上 4 点未満
B	事業計画の履行において一部努力が必要だが、概ね適切な管理運営を行っている	二次評価の平均点が 2 点以上 3 点未満
C	事業計画の履行において、抜本的な管理運営の改善が必要	二次評価の平均点が 2 点未満 または「1」の評価があり、かつ、その理由が重大な内容である場合

評価項目 1 業務の履行状況 (1) 選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項の評価（所管部署）	A
--	---

(2) 施設の管理運営に関する経費の収支状況（使用料の収入実績を含む）

評価ポイントごとの評価基準	
○	適正（適切）である
△	一部改善が必要であるが、概ね適正
×	不適正（不適切）である

評価ポイント	指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由
・収支予算書と比較して収入額が大幅に減少していない。／大幅に減少している場合、その理由が妥当で、今後安定した収入を得られる見込みがあるか。	○	収支予算書と比較して収入額が大幅に乖離していない。今後安定した収入を得られる見込みがある。	○	収支は大幅に乖離しておらず、適正であることを確認した
・収支予算書と比較して、想定外に多く支出している費目がない。／想定外に多く支出している費目がある場合、その理由が妥当で、今後、予定外の支出が発生するおそれがないか。	○	収支予算書と比較して、想定外に多く支出している費目はない。今後、予定外の支出が発生するおそれはない。	○	想定外に多く支出している項目はなく、適正であることを確認した
・運用資金の借入れを行っていない。／借入れを行っている場合、その理由が妥当か。	○	運用資金の借入れを行っていない。	○	運用資金の借入れを行っていないことを確認した
・口座管理、つり銭等の現金管理は適正に行われているか。	○	口座管理、つり銭等の現金管理は適正に行われている。	○	使用料については帳票等と整合の上、市の会計規則に則り管理されている

評価項目 1 (2) の評価基準			
S	全ての項目が適正（適切）であり、かつ、特に優れた点が見られる	全ての項目が○、かつ、特に優れた点が見られる	
A	全ての項目が適正（適切）である	全ての項目が○	
B	一部改善が必要であるが、概ね適正（適切）である	△が1個以上	
C	不適正（不適切）な点があり、直ちに改善を求める	×が1個以上	

評価項目 1 業務の履行状況 (2) 施設の管理運営に関する経費の収支状況の評価（所管部署）	A
--	---

(3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項

評価ポイントごとの評価基準	
○	適正（適切）に実施している。
△	一部改善が必要であるが、概ね適正（適切）に実施している。
×	実施していない、又は不適切な点がある

評価ポイント	指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由
・募集要項2ページに記載している再委託禁止に関する事項を順守し、市の承認手続きが適切に行われているか。	○	募集要項2ページに記載している再委託禁止に関する事項を順守し、市の承認手続きが適切に行っている。	○	再委託禁止に関する事項を遵守し、運営している。
・指定管理業務に伴い発生する経費及び収入を、指定管理者が他の事業等で利用する口座とは別の口座で管理しているか。	○	指定管理業務に伴い発生する経費及び収入を、指定管理者が他の事業等で利用する口座とは別の口座で管理している。	○	別の口座で管理していることを確認。
・個人情報保護法等の関係法令に基づき個人情報保護に関し必要な措置を講じているか。	○	個人情報保護法等の関係法令に基づき個人情報保護に関し必要な措置を講じている。	○	必要な措置を講じていることを確認した。
・労働基準法等の労働関係法令を遵守しているか。	○	労働基準法等の労働関係法令を遵守している。	○	関係法令を遵守していることを確認した。
・職務の執行に対する意見、要望等の記録等に関する条例に基づき記録等の対応を行っているか。	○	職務の執行に対する意見、要望等の記録等に関する条例に基づき記録等の対応を行っている。	○	日報等で記録しているが、職務の執行に対する意見、要望等の記録等に該当するものはなかった。
・指定管理者が業務に伴って作成し、又は受領した文書等に関し、文書管理に関する規定等を定め、適正に管理・保存しているか。	○	指定管理者が業務に伴って作成し、又は受領した文書等に関し、文書管理に関する規定等を定め、適正に管理・保存している。	○	管理規定等を定め、適正に管理・保存していることを確認した。
・募集要項13ページに記載している「環境への配慮」が適切に行われているか。	○	適募集要項13ページに記載している「環境への配慮」が適切に行っている。	○	光熱水質の削減目標の設定、グリーン商品の購入を実行しており、環境への配慮が適切に行われていることを確認した。
・適切な保険に加入しているか。	○	適切な保険に加入している。	○	適切な保険に加入していることを確認した。
・指定管理者名と設置者としての市の連絡先を施設内に表示するとともに、利用料金表等に明記しているか。	○	指定管理者名と設置者としての市の連絡先を施設内に表示するとともに、利用料金表等に明記している。	○	各表示は館内に表示していることを確認した。
・障害者法定雇用率が達成され（又は達成に向けて取り組み）されており、募集要項13ページに記載している障害者差別解消に関する取り組みが行われているか。	○	障害者法定雇用率は達成している。 <障害者雇用率（法定2.3%）> OGBC3.89% リブネット2.95% KBT2.78%	○	適切に取り組まれていることを確認した。
・利用者に対するアンケート等、利用者ニーズの情報収集を適切に行うとともに、その結果を踏まえて改善に取り組んでいるか。	○	利用者に対するアンケート等、利用者ニーズの情報収集を適切に行うとともに、その結果を踏まえて改善に取り組んでいる。	○	利用者アンケートを実施し、改善に取り組んでいることを確認した。
・事業報告書、日報・月報等を遅滞なく市に提出するとともに、業務の実施状況が適切に報告されているか。	○	事業報告書、日報・月報等を遅滞なく市に提出するとともに、業務の実施状況が適切に報告している。	○	事業報告書、日報・月報等を遅滞なく提出され、適切に報告されている。
・施設や設備等の修繕に関して、実施記録や要修繕箇所の把握が適切に行われており、適宜、市に報告されているか。	○	施設や設備等の修繕に関して、実施記録や要修繕箇所の把握が適切に行われており、適宜、市に報告している。	○	修繕に関して、実施記録や要修繕箇所の把握が適切に行われており、適宜、市に報告されている。

評価項目1(3)の評価基準		
S	全ての項目が適切に実施されており、かつ、特に優れた点が見られる	全ての項目が○、かつ、特に優れた点が見られる
A	全ての項目が適切に実施されている	全ての項目が○
B	一部改善が必要であるが、概ね適切に実施されている	△が1個以上
C	不適切な点があり、直ちに改善を求める	×が1個以上

評価項目1 業務の履行状況 (3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項の評価（所管部署）	A
--	---

2 業務の継続性・安定性

評価ポイントごとの評価基準	
○	適正（適切）である
△	一部改善が必要であるが、概ね適正（適
×	不適正（不適切）である

評価ポイント	指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由
・応募の資格に抵触する事項はないか。	○	応募の資格に抵触する事項はない。	○	応募資格に抵触する事項はない
（監査報告書等） ・会計手続きが適正に行われていることが確認できたか。	○	（監査報告書等） 会計手続きが適正に行われていることが確認できている。	○	会計手続きが適正に行われていることを確認した
（監査報告書等） ・事業の存続に関わる異常事項が指摘されていないか。	○	（監査報告書等） 事業の存続に関わる異常事項が指摘されていない。	○	異常事項が指摘されていないことを確認した
（貸借対照表） ・資産・負債の中に大きな前期比増減がない。／ある場合、その理由は妥当か。	○	（貸借対照表） 資産・負債の中に大きな前期比増減がない。	○	大きな前期比増減は生じていない
（損益計算書等） ・安定した収益をあげられているか。（赤字となっていないか。）	○	（損益計算書等） 安定した収益をあげられている。	○	安定した財務状況となっている
・施設の収支状況（自主事業の収支を含む）が安定しているか。（赤字の場合は、その赤字分を継続的・安定的にカバーできる財務状況となっているか。）	○	施設の収支状況（自主事業の収支を含む）が安定している。	○	施設の収支状況が安定していることを確認した
・その他、団体の経営に影響する要素はないか。	○	その他、団体の経営に影響する要素はない。	○	団体の経営に影響する要素はないことを確認した

評価項目2の評価基準		
S	継続的・安定的にサービスを提供できる状態であり、かつ、特に優れた点が見られる	全ての項目が○、かつ、特に優れた点が見られる
A	継続的・安定的にサービスを提供できる状態である	全ての項目が○
B	一部改善が必要であるが、概ね継続的・安定的にサービスを提供できる状態である	△が1個以上
C	不適正（不適切）な点があり、直ちに改善を求める	×が1個以上

評価項目2 業務の継続性・安定性の評価（所管部署）	A
---------------------------	---

3 指定管理者による一次評価（総括）

一次評価コメント

＜生涯学習市民センター＞
（御殿山生涯学習美術センター）
稼働率・来館者数について、稼働率56.4%（目標値56.0%）、利用人数3万6,654名（目標値3万6,491名）と目標数値を上回ることができた。「商店会をはじめ地域住民との連携」「各種広報媒体での施設PR活動」「利用者目線での施設整備や備品更新」を推進した結果、達成することができたと考えられる。利用者満足度調査アンケートにおいては引き続き高い水準を維持。
自主事業では、2024年度に御殿山施設のルートである「大阪美術学校」が、開校100年、御殿山移転95年という大きな節目を迎えた。この記念すべき年に、多くの市民に親しまれる「市民のアトリエ」としての役割を再確認し、次の100年に向けた様々な事業を展開した。枚方市および地域の関連施設と連携し、多彩な企画やPR活動を通じて、創作の場としての魅力を一層高めた。
2025年度には、「2025大阪・関西万博チャレンジ共創企画『Art de Peace』」と連動し、「大阪・関西万博で絵じやないか！」「展覧会の開催を予定。万博を契機とした創造活動の機運を活用し、地域における文化芸術への関心と参加を促進。また、昨年度より始まった「美術学校移転100年」に向けたホットな期間を最大限に活かし、御殿山ゆかりの南画家・矢野橋村をはじめとする展覧会の開催や、若者世代・現役世代に向けた創作体験・学びの機会を提供し、より多くの市民に施設の魅力や価値を伝え、参加と共感を広げていく。さらに、利用者アンケートに寄せられた貴重なご意見を丁寧に反映し、誰もが気軽に訪れ、創作と交流ができる愛される施設運営の深化を図り、「市民が『まなび』と『つながり』を育む、枚方唯一無二の美術センター」としての役割を果たしていく。

＜菅原生涯学習市民センター＞
稼働率・来館者数について、稼働率64.6%（目標値62.1%）、利用人数7万9,914名（目標値7万6,000名）と目標数値を上回ることができた。当日空き枠利用者の受け入れや新規利用者への施設案内、広報媒体を活用した施設PR活動、そして利用者目線での施設整備や備品の更新といった取り組みを推進したことが、これらの成果に結びついたと考えられる。利用者満足度調査アンケートでも高い水準を維持しており、質の高いサービス提供が評価された。
自主事業では、図書館連携による「ガラス窓お絵かきプロジェクト」を季節ごとに4回実施し、図書館館長を講師に迎えて季節感を活かしたテーマで開催しました。参加者が多く、各回抽選方式を取り入れるなどの工夫を重ね、公平性を保ちつつ新たな利用者層、特に親子連れの開拓に成功した。また、図書館所蔵の絵本を活用した「夏休み手話教室」もマニスト講座の一環として実施し、図書館との連携を強化した。
さらに、枚方市内4館合同のオンライン事業など多彩な企画とPRを通じて、認知度の向上と利用者の拡大を図った。
2025年度には、大阪・関西万博チャレンジ共創企画「Art de Peace」と連動し、「大阪・関西万博で絵じやないか！」「展覧会の開催を予定している。万博を契機とした創造活動の機運を活かし、提案案件未実施事業である「音楽・ダンススクールの発表会」など、夜間の空き枠を活用した新規事業を展開を予定。これにより、地域サークルの練習利用の場としても貢献することを目指す。今後も利用者アンケートに寄せられた貴重なご意見を丁寧に反映し、誰もが気軽に訪れ、学び、交流できる愛される施設運営を進め、「市民が『まなび』と『つながり』を育む生涯学習市民センター」としての使命を果たしていく。

＜図書館＞
（御殿山図書館）
御殿山図書館では、生涯学習美術センター（市民センター）との連携・協力を軸に、色々なイベントを企画・実施した。美術センターのロビーを活用した「たかだしんいち絵本原画展」を4月2日より29日まで開催。絵本の原画を展示することで、原画ならではの書きの色彩を感じることができた。美術センターの事業で、御殿山フェスタ、オープン御殿山、作品合同展、はるかぜ手作り市、などに連携・協力。また、美術センターの2Fホールを活用し、AIプログラミング体験「AIOボット temiプログラミング教室」も開催した。読書活動推進事業として、成人の方々に知見と情報を提供する「絵本セラピストによる大人の絵本セラピー」、
「心理カウンセラーによる心理学講座」、セラピストによるセルフケア「セルフケアで体質改善 若さと美と健康を保つ方法」講演会など、必要な情報を提供した。子ども向けの事業では、絵本講師、絵本専門士による絵本講座＆おはなし会の実施。さらに、音読教室の講師による絵本の読み聞かせ、おはなし会を活発に開催した。今後も合同消防訓練の実施、合同研修など、美術センター職員と共に参加をしてより連携強化を図るとともに、地域に根差した図書館の役割を果たしていく。

＜菅原図書館＞
菅原図書館では、休館日であった月曜日に多様な事業の展開を図っている。今年度においては、内容を見直し新たに第1月曜日に子育て支援の観点から「あかちゃんといっしょ」（絵本を読むも、子どもの工作会などの内容）で親子で楽しむ事業を開催。第2月曜日の大人を対象としたクラフト体験の「なにつくろ」第3月曜日の簡単な体操をおこなう「体をうごかそう」第5月曜日のゆるい読書会「私の好きな本」も多くの方にご参加いただいた。また、御殿山図書館において好評であった枚方にお住いの朗読の専門家による「朗読教室」や18時以降に開催する「珈琲入門講座」など図書館に足を運んでいただく機会を増やす事業を展開した。絵本作家の服部美法さん講演会「福を招いた「おぶくさん」」では、絵本の原画を持参いただき、原画の美しい・微妙な色合いに接することができる機会となった。子ども向けの事業では、生涯学習市民センターと連携した「ものがたりワークショップ」や「ガラス窓に絵を描こう」においては協働し事業の展開を図っている。また、各種おはなし会等の開催、調べ学習への支援を中心とした児童サービスを展開した。加えて、ヤングアダルト期の読書支援、子育て応援事業の強化を図った。令和7年度においては、新たにICタグシステムの稼働を迎えることになりますが、中央図書館と連携を図りながら準備を進めるとともに、基本的な図書館サービスの充実を図り、地域社会に根差した図書館運営を行い、生活に最も身近な親しみやすく利用者の生活の中にある図書館を目指してまいります。

4 所管部署による二次評価（総括）

(1) 評価項目ごとの評価結果及び総合評価

評価項目		評価結果	総合評価
1 業務の履行状況			A
	(1) 選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項	A	
	(2) 施設の管理運営に関する経費の収支状況（使用料の収入実績を含む）	A	
	(3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項	A	
2 業務の継続性・安定性		A	

総合評価の考え方

評価項目ごとの評価をそれぞれS＝4点、A＝3点、B＝2点、C＝1点として4項目（または3項目）の合計点数を算出し、そのうち「C」評価が1つ以上ある場合はその合計点数から1点減点し、下表の区分により総合評価を決定する。
ただし、評価ポイントにおいて「1」や「×」となった理由が重大な内容である場合は、総合評価を「C」評価とする。

点数・評価対応表																	
評価項目ごとの評価をそれぞれS＝4点、A＝3点、B＝2点、C＝1点として4項目（または3項目）の合計点数を算出し、そのうち「C」評価が1つ以上ある場合はその合計点数から1点減点し、下表の区分により総合評価を決定する。 ただし、評価ポイントにおいて「1」や「×」となった理由が重大な内容である場合は、総合評価を「C」評価とする。																	
総合評価		S				A				B				C			
評価項目が4つの場合 (順不同)		16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	
評価項目の 評価値 (順不同)		SSSS	SSSA	SSSB	SSAB	SSBB	SABB	AABB	ABBB	BBBB	AACC	ABCC	ABCC	BCCC	CCCC		
			SSAA	SAAA	SAAA	SAAA	SAAA	SAAA	SAAA	SAAA	SAAA	SAAA	SAAA	SAAA	SAAA		
					AAAA	AAAA	SSAC	SABC	SABC	AABC	SABC	SBCC	SBCC				
						SSCC	SSAC	SABC	SABC	AABC	SBBC						
評価項目が3つの場合 (順不同)		12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2					
評価項目の 評価値 (順不同)		SSS	SSA	SSB	SAA	SAB	SBB	ABB	BBB	SBC	ABC	BCC	CCC				
					SAA	SAA	ABC	SAC	ABC	SAC	ABC						
							SAB	SAC	ABC	ABC	BBC						
								SAC	ABC	ABC							

(2) 二次評価コメント

＜生涯学習市民センター＞
両センターとも、引き続き稼働率・来館者数が堅調に推移しており、利用者満足度調査において引き続き高水準を維持されていることから、良好な施設運営が継続されていると評価します。利用者目線に立った窓口対応や施設管理、備品更新のほか、個人情報保護や災害対応といった基本的な事項に関する職員研修が着実に実施され、安定したサービス提供に資する体制が構築されている点も高く評価します。
特に、令和6(2024)年度は大阪・関西万博を契機とした創造的な取り組みとして「Art de Peace」関連企画を積極的に展開し、芸術文化と地域のつながりを深める活動が見られました。また、歴史的資源を活かした事業や、図書館との連携による親子向けイベント、オンラインによる合同事業など、地域性と時代性の両面に配慮した多様な学習機会の提供が行われた点は、各センターの柔軟かつ先進的な姿勢を示すものです。一方で、提案書に記載された未実施項目や新規事業の展開においては、今後の着実な実行が求められます。特に、夜間の空き枠を活用した利用促進や、若年層・現役世代へのアプローチなど、さらなる利用者層の拡大に向けた施策については継続的な検討と実行が望めます。
今後も、市民が「まなび」と「つながり」を育むことができる地域拠点として、誰もが気軽に訪れ、参加・共感できる開かれた施設運営に努めていただくことを期待します。引き続き、利用者の声を丁寧に受け止め、魅力と機能の両面で進化し続ける施設となるよう取り組んでください。

＜図書館＞
両施設とも年度事業計画書に記載の数値目標（貸出冊数・来館者数）を上回る実績となりました。これは登録・貸出・返却・予約など、図書館の基本的な業務以外に、定期的な特集展示の実施、対象年代を意識した催しなど、多種多様な事業を数多く展開されたことの効果と評価できます。利用者アンケートでは、「職員のあいさつ・対応・説明」で満足・やや満足の合計が、御殿山図書館で100%、菅原図書館で97.8%と高い満足度を得たことも評価できます。申請時に提案された施設の運営コンセプト「市民が『まなび』と『つながり』を共有する、誰もが気軽に集える、まちなかサロン」の趣旨を図書館として、どのように具体化しているのか、また、様々な取り組みの積み重ねやスタッフのスキルアップは地域に根差した図書館づくりにつながるものと期待します。指定管理期間の中間年となる次年度には、申請時に提案された理念や事業について、もう一度振り返っていただき、以降の取組みに活かされるよう努めてください。新たな利用者の増加に向けた取組みはもちろんのこと、その後の継続的な図書館利用につなげていくことを念頭に、図書館独自の取組みに加え、生涯学習市民センターと併設の図書館としての事業展開の可能性を追求されることに期待します。また、共同事業体としては楠葉・津田施設の管理運営も行って、4館合同での事業も実施されています。館ごとに特徴を活かした取組みはもとより、4館合同で取組むことで、より効果的な事業を実施されることを期待します。
また、事業を実施した際には、その事業が効果的なものであったかの検証は必ず行うようにしてください。参加者へのヒアリングやミニアンケートでも結構です。次の事業企画につながるように、事業を実施したという実績の積み重ねだけではなく、個々の事業を効果的に行うことができたことと一次評価できるように心掛けてください。
令和7年度途中からはICタグシステムを導入します。あわせて予約図書受取コーナーの運用も始まります。これまでスタッフが時間を割いていた業務の一部が簡素化されるもので、その時間をレファレンスサービスやフロアワーク、効果的な選書など、図書館サービスの充実につながる取り組みに活かせるよう期待します。

5 改善指示への対応状況

指示を行った時期	内 容	対応状況
令和 年 月	該当なし	

6 添付資料

◆収支・利用状況